

平成30年度 行政評価結果

【第2巻 戦略プロジェクト評価】

評価からはじめるまちづくり

平成30年12月

盛岡市

目 次

I 戦略プロジェクトについて

- 1. 戦略プロジェクトとは何か 1
- 2. 平成30年度戦略プロジェクト 1

II 戦略プロジェクト評価について

- 1. 戦略プロジェクト評価は何のために行うのか . . . 2
- 2. どのような仕組みか 3
- 3. 評価結果を何に反映させるのか 3

戦略プロジェクト評価シートの見方 5

戦略プロジェクトロジックモデルシートの見方 6

重点1 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト . . . 7

重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト . . . 13

重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト . . . 19

I 戦略プロジェクトについて

1 戦略プロジェクトとは何か

平成27年度からスタートした総合計画の基本目標*¹を達成するため、各分野の29施策*²において、それぞれ取組を推進していく一方で、未来に向け、特に重点的・施策横断的に取り組む必要のある課題に対応するため、施策単位での取組を連携させながら事業実施の効果を高め、課題を解決し、基本目標の達成や将来像の実現を目指していく必要があります。

このことから、本市の課題等を踏まえた、重点的・施策横断的な取組を「戦略プロジェクト」として展開します。

取組期間は、おおむね3年を目途に重点を置いた取組を進めます。

*¹ 基本目標

総合計画の基本構想に掲げている「目指す将来像」の実現のため、まちづくりの理念や方向性を表したもの

*² 施策

目指す将来像の実現に向けて取り組む課題を明確にするために、4つの基本目標の下に位置付けたもの。施策毎に目標値を設定するなどして達成度の評価を行います。

2 平成30年度戦略プロジェクト

重点1 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト

本市の魅力ある農畜産物などの地域資源を活用した取組を進めるとともに、関連する食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化やビジネス環境整備の取組により産業の振興を図ります。

また、戦略的な企業誘致や企業支援のほか、新たな市場開拓や新商品開発等を目的とした異業種交流の促進により、活力あふれるまちづくりを推進します。

重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実します。

また、子育ての相談や子どもの健全な成長を支援する体制の充実を図り、盛岡に住み続けたいと思える、安心して子育てのできるまちを実現します。

重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト

本市を訪れる旅行客が満足し、選ばれる観光地域となるため、歴史や自然、文化などの恵まれた観光資源を生かし、ブラッシュアップするとともに、国内外からの観光客受入態勢の整備を進めるほか、様々な媒体を通じ、本市の魅力を積極的にプロモーションします。

また、2019年ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピックの機運を高め、ホストタウン事業などに取り組むとともに、MICEの誘致や盛岡ファンづくりを推進するなど、交流人口を増やし、魅力があふれるまちづくりを推進します。

Ⅱ 戦略プロジェクト評価について

1 戦略プロジェクト評価は何のために行うのか

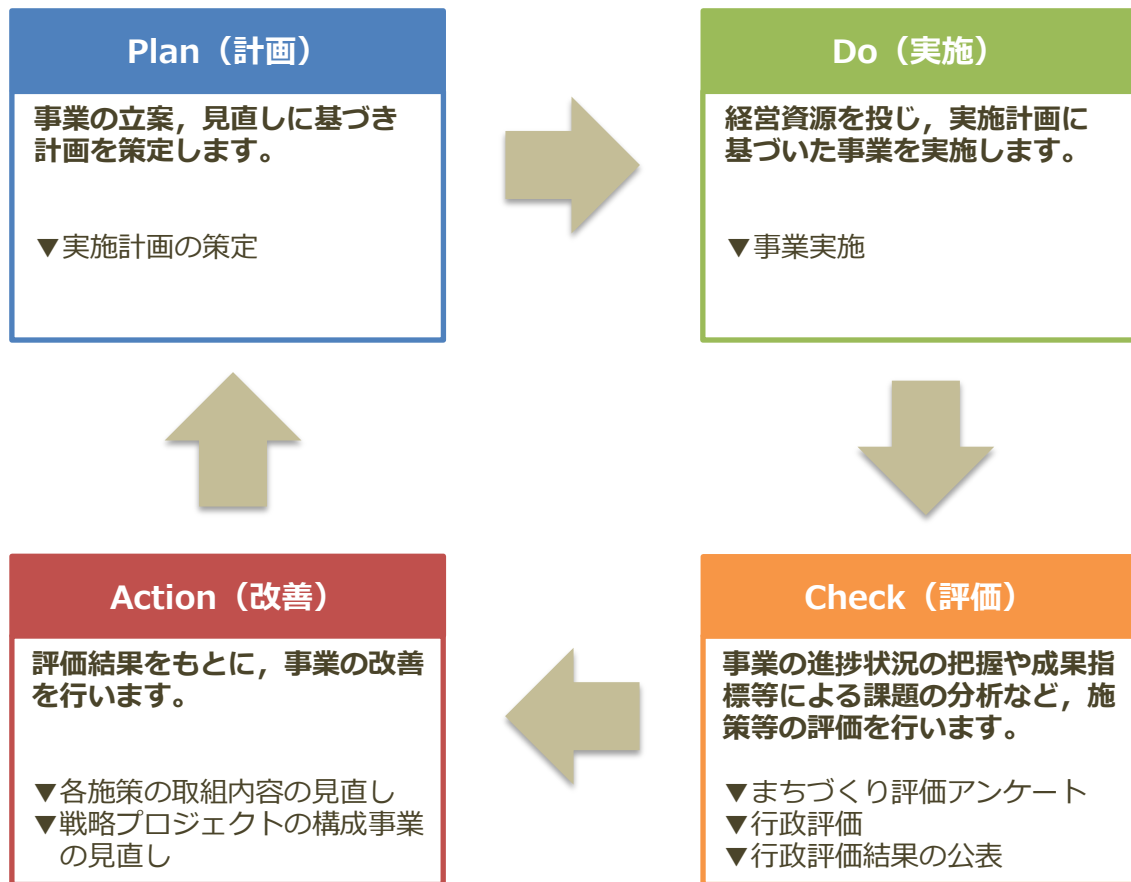
戦略プロジェクト評価は、各戦略プロジェクトの目的や目標がどこまで達成されたか等の視点により評価するものです。

また、戦略プロジェクトは、設定した取組期間内において目標を達成することが求められていることから、前年度の実績を踏まえながら当該年度の評価時点における進捗状況評価（事中評価）を実施することで、戦略プロジェクトの着実な推進を図ります。

2 どのような仕組みか

計画（PLAN）→実施（DO）→評価（CHECK）→改善（ACTION）の循環（マネジメントサイクル）を確立し，市の行政活動について絶えず振り返りを行うことにより，次年度以降の企画の立案や予算編成に反映させていく仕組みです。

○総合計画の進行管理



3 評価結果を何に反映させるのか

戦略プロジェクト評価の評価結果は，今後の戦略プロジェクトの推進や構成事業の見直しに活用するとともに，戦略プロジェクトの期待する効果や意図実現に向けて特に高い効果が得られる事業に対し，重点的に予算を配分するなど，予算編成に活用することとしています。

(余白)

戦略プロジェクト評価シートの見方

【戦略プロジェクト評価(平成30年度)】

戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト	戦略プロジェクトに取り組む背景	戦略プロジェクトの取組の内容
期待する効果	産業の魅力・活力があふれるまちになる	本市には、若者がどれだけ盛岡に残り、定住してもらえるのかという課題があり、この課題解決のためには、「魅力のある仕事」、「安定した雇用形態」、「相応の賃金」といった雇用の質を重視した取組が重要であり、経済・産業全体の付加価値や生産性の継続的な向上につなげていく必要がある。	本市の魅力ある農畜産物などの地域資源を活用した取組を進めるとともに、関連する食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化やビジネス環境整備の取組により産業の振興を図る。また、戦略的な企業誘致や企業支援のほか、新たな市場開拓や新商品開発等を目的とした異業種交流の促進により、活力あふれるまちづくりを推進する。
重点取組期間	平成29～31年度	戦略プロジェクトの中心事業を所管する部等を「主管部等」、主管部等の長を、「戦略プロジェクト統括マネージャー」としています。	
主管部等名	商工観光部・農林部	対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
戦略プロジェクト統括マネージャー	沼田秀彦 商工観光部長・長澤秀則 農林部長	農畜産物 製造業	農畜産物の6次産業化により販売額が一定水準に達する。 製造業の高付加価値化を図る。

目標指標の状況・評価(平成30年7月時点)

戦略プロジェクトの目的を客観的な数値で表した指標を設定し、目標達成度を評価する判断材料としています。

実績値の推移		実績の評価		今後の展開(評価時点～平成31年度)
指標① 農畜産物加工品販売額		「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点		評価を踏まえた今後の取組
当初値(H27)	18	H31目標値	27	目指す方向 ↗
		<p>「盛岡りんご」の販売額が好調である (28年度:4,588千円, 29年度:7,251千円, 伸び率158.0%)</p> <p>「もりおか短角牛」の販売額が好調である (28年度:1,270千円, 29年度:1,540千円, 伸び率121.3%)</p>		<p>☆1 販売額が好調な「盛岡りんご」は、「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」に基づくアクションプランを確実に実行し、さらなる販売額の増加を目指すこととする。また、タイ、ベトナム、台湾への輸出に加え、カナダなど海外への輸出拡大に向けた農協の取組に対し、側面から支援を行い、販路拡大に結び付ける。</p> <p>☆2 販売額が好調な「もりおか短角牛」は、「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」に基づくアクションプランを確実に実行し、さらなる販売額の増加を目指すこととする。また、もりおか短角牛の振興を図る取組を引き続き実施する。また、春から夏にかけて不足するもりおか短角牛の供給量の確保を図るために、引き続き、肥育農家に対する子牛購入経費の一部を助成する。</p> <p>☆3 「アロニア」は、築川地区に着任した地域おこし協力隊員と連携しながら、新たな商品開発や販売促進活動に取り組み、販売額の増加に結び付けたい。</p> <p>☆4 「津志田芋」は、30年度以降の芋焼酎の製造について、製造、販売者等関係者との協議を要する。</p> <p>☆5 「行者にんにく」は、蕨川地区に着任した地域おこし協力隊員と連携しながら、新たな商品開発や販売促進活動に取り組み、販売額の増加に結び付けたい。</p> <p>☆6 盛岡産農畜産物の生産量の拡大の一端を担う新規就農者の確保と育成のため、引き続き支援を行う。</p>
<p>「ア」は実績値を上げていくことを、「△」は実績値を下げていくことを、「→」は当初値を維持していくことを目標とするものです。</p>		<p>「指標の目指す方向」に向けた問題点</p> <p>「アロニア」の販売額が不調である (28年度:7,256千円, 29年度:5,960千円, 伸び率△17.9%)</p> <p>「津志田芋」の販売額が不調である (28年度:5,476千円, 29年度:2,603千円, 伸び率△52.5%)</p> <p>「行者にんにく」の販売額が不調である (28年度:3,426千円, 29年度:3,167千円, 伸び率△7.6%)</p>		
<p>「アロニア」は実績値を上げていくことを、「△」は実績値を下げていくことを、「→」は当初値を維持していくことを目標とするものです。</p>		<p>「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点</p> <p>「アロニア」 ・需要がないことを理由に、リカースイーツの販売が中止された。 ・原材料の仕入れ価格見直しにより、アロニアティーの販売が減少した。</p> <p>「津志田芋」 ・28年度は「いわて国体」の開催に伴い、土産品としての芋焼酎販売が好調であったが、国体の終了により、29年度は27年度並みの販売額となった。</p> <p>「行者にんにく」 ・イベント販売に頼った上での販売額となっており、宣伝開発と販路拡大が必要。</p>		
<p>指標② 製造業</p>		<p>「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点</p> <p>・設備投資が増加傾向である。</p>		<p>左欄の要因分析を基に、今後必要となる展開を記載しています。</p> <p>☆1 新産業等用地の整備を進める。道明地区の準工業地域のうち、第一事業区については、平成33年2月までに整備が終了するよう、関係各部署との調整を行い、事業の円滑な推進を図る。</p> <p>☆2 地場企業を含め、新設・拡充・移転等の意向把握に努め、早期の売却を図り、操業環境や生産性の向上を目指す。</p>
<p>当初値(H27)</p> <p>4,209</p> <p>H31目標値</p> <p>4,377</p> <p>目指す方向 ↗</p>		<p>「指標の目指す方向」に向けた問題点</p> <p>・市内に製造業等の産業用地がほぼない状況にあり、地場企業の業務拡張、操業環境の向上に支障をきたしている。また、市内に新たに立地しようとする企業に対しても用地を斡旋できない状況である。</p> <p>・市産業支援施設入居企業の退去後の受け皿となる用地の不足等が課題となっている。</p> <p>・企業の設備投資の実績や今後の意向を把握しきれていない。</p>		
<p>7,000</p> <p>6,000</p> <p>5,000</p> <p>4,000</p> <p>3,000</p> <p>2,000</p> <p>1,000</p> <p>0</p> <p>当初値 H28 H29 H30 H31</p> <p>※ 製造業粗付加価値額… 売上高から原材料費や仕込原価などの変動費を差し引いたもの</p>		<p>「指標の目指す方向」に向けた問題点</p> <p>・産業用地が不足しているためであり、整備の必要がある。</p> <p>・事業者の意向等を細かく把握するため、積極的に企業訪問を行う必要があると認識しているが、現状では不十分である。</p>		
<p>指標③ 異業種交流における商談成立件数</p>		<p>「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点</p> <p>・第1回商談会開催後、6月末時点で6件の商談が成立した。</p>		<p>☆1 商談会を全3回開催し、商談成立件数を増加させる。</p> <p>☆2 商談会のほかに、見本市や産地訪問見学会を開催し、情報発信の機会とするとともに、商談会の効果を上げる。</p> <p>☆3 商談会において、出展者の食材を使用した新メニューを提案するなど、商談会への参加業者の増加に向け、内容を工夫する。</p>
<p>当初値(H27)</p> <p>27</p> <p>H31目標値</p> <p>110</p> <p>目指す方向 ↗</p>		<p>「指標の目指す方向」に向けた問題点</p> <p>・魅力のある県内生産者に出店を促し、また、生産者が売りたいと思う業種のバイヤーに参加を呼びかけることで、商談会の魅力が向上したと考えられる。</p>		
<p>140</p> <p>120</p> <p>100</p> <p>80</p> <p>60</p> <p>40</p> <p>20</p> <p>0</p> <p>当初値 H28 H29 H30 H31</p> <p>※ 目標値及び実績値はH27からの累計</p>		<p>「指標の目指す方向」に向けた問題点</p> <p>・参加事業者が固定化されてきている。</p> <p>・新たな参加事業者の増加に向けた魅力的なコンテンツが足りなかったものと考えられる。</p>		

戦略プロジェクト ロジックモデルシートの見方

ロジックモデルシートは、各事業がどういった論理(ロジック)で戦略プロジェクトの期待する効果に至るのか、その過程を、数段階(直接の結果、一次成果、二次成果、三次成果...)に分割して表現しています。つまり、直接の結果から右へ順に、時間の経過にともなう成果の流れを表しています。

※ロジックモデルとは、戦略プロジェクトの期待する効果に対して、各事業がどのような因果関係にあるのかを体系的に図示した流れ図のことであり、事象の構造を抽象化して論理的に形式化した仮説です。ロジックモデルシートを作成するにあたっては、経験と事業実績に基づいて、「こうなることによってこうなる、その結果こうなる...」という論理の流れを考えます。このような論理的な根拠を持ったより良い仮説を立てることが、より有効性の高い事業をつくりだすことにつながると考えています。また、毎年このロジックモデルを検証し、見直すことによって、戦略プロジェクトの期待する効果の達成を目指します。

ロジックモデルシート(平成30年度評価)

戦略プロジェクト名 「食と農」「ものづくり」応援プロジェクト 主管部名 商工観光部・農林部

※H30年度の数值は、評価時点の数值。

事業名 事業概要等	活動	結果	目指す成果	戦略プロジェクト																								
	事業の具体的な内容を記載しています。	事業の対象者(受益者)、対象物が直接的に得られるものや行動を記載しています。	事業の対象者(受益者)、対象物が得られる利益や変化を記載しています。数段階に分割して記載し、一番右側の成果が、戦略プロジェクトの目標、期待する効果を直接的に押し上げる成果になります。																									
<p>①食と農の連携推進事業(食と農のバリューアップ推進事業)</p> <p>【事業概要】 平成29年度に策定した「もりおかの食と農バリューアップ戦略」を基に、農業と2次産業、3次産業の連携の強化を図り、魅力ある盛岡産農畜産物のブランド力向上と販路拡大、6次産業化の支援、盛岡の食の魅力発信等に取り組む。</p> <p>【H29事業費】 24,970千円 【H30事業費】 27,566千円 【H31事業費】 —</p> <p>【担当課】 食と農の連携推進室 【実施内容】 異業種連携をベースとした次の事業を実施する。 ・所得の向上と夢のある農業の実現に向けた戦略づくり。 ・生産者の6次産業化支援。 ・盛岡産農畜産物の魅力発信。 ・盛岡産農畜産物のブランド力の向上と販路拡大の支援。</p> <p>【進捗状況】 6次産業化スタートアップ補助金は、4者に対し交付決定を行った。 ・盛岡の食と農イメージロゴ・コンセプト開発を目的としたアンケートを実施した。 ・東北絆まつり盛岡の開催に伴い、盛岡産農畜産物を活用したメニュー販売・PRを行うブースを出展した。 ・水球女子カナダ・日本代表チーム歓迎レセプション会場で、特産食材を活用した食のおもてなしを実施した。</p> <p>評価時点(7月1日)の進捗状況を記載しています。</p>	<p>多様な主体の参画による円卓会議を開催する (単位 開催回数)</p> <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>4</td><td>未</td><td></td></tr> </table> <p>戦略に基づいて、各主体が、盛岡産農畜産物の魅力発信や利用促進に取り組むようになる</p> <p>実績値を把握できないものは指標を設定していません。</p>	H29	H30	H31	4	未		<p>戦略に基づいて、各主体が、盛岡産農畜産物の魅力発信や利用促進に取り組むようになる</p> <p>実績値を把握できるものは指標を設定しています。</p> <p>参加する (単位 参加者数)</p> <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>150</td><td>未</td><td></td></tr> </table> <p>メディアを利用して盛岡産農畜産物のPRを実施する (単位 掲載メディア数)</p> <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>3</td><td>1</td><td></td></tr> </table> <p>メディアを通じて、消費者や事業者が、盛岡産農畜産物に関する情報を得る</p>	H29	H30	H31	150	未		H29	H30	H31	3	1		<p>盛岡産農畜産物の認知度が向上する (単位 食品想起率の全国順位)</p> <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>25</td><td>未</td><td></td></tr> </table> <p>盛岡産農畜産物の生産量・生産品目が増加する</p> <p>戦略プロジェクトの期待する効果や意図実現に向けて、特に貢献度が高い成果に「◎」を付けています。</p>	H29	H30	H31	25	未		<p>【期待する効果】 産業の魅力・活力があふれるまちなり</p> <p>【対象】 農畜産物・製造業</p> <p>【意図】 農畜産物の6次販売</p>
H29	H30	H31																										
4	未																											
H29	H30	H31																										
150	未																											
H29	H30	H31																										
3	1																											
H29	H30	H31																										
25	未																											
	<p>【活動】の実績値の記載方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29実績値について <ul style="list-style-type: none"> ⇒事業を実施した場合は「数値」 ⇒事業を実施していない場合は「斜線」 ・H30実績値について <ul style="list-style-type: none"> ⇒事業を実施している場合は評価時点(7月1日)の「数値」 ⇒評価時点(7月1日)以降に事業を実施する場合は「未」 ⇒事業を実施する予定がない場合は「斜線」 	<p>【結果】の実績値の記載方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29実績値について <ul style="list-style-type: none"> ⇒事業を実施し、[結果]が生じている場合は「数値」 ⇒事業を実施したが、[結果]が生じていない場合は「0」 ⇒事業を実施しておらず、[結果]が生じていない場合は「斜線」 ・H30実績値について <ul style="list-style-type: none"> ⇒事業を実施し、[結果]が生じている場合は評価時点(7月1日)の「数値」 ⇒評価時点(7月1日)以降に事業を実施する場合、または実施したが今後[結果]の数値を把握する場合は「未」 ⇒事業を実施したが、[結果]が生じていない場合は「0」 ⇒事業を実施する予定がなく、[結果]が生じない場合は「斜線」 	<p>【目指す成果】の実績値の記載方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29実績値について <ul style="list-style-type: none"> ⇒事業を実施し、[成果]が生じている場合は「数値」 ⇒事業を実施したが[成果]が生じていない場合、または事業を実施しておらず、[成果]が生じていない場合は「0」 ・H30実績値について <ul style="list-style-type: none"> ⇒事業を実施し、[成果]が生じている場合は評価時点(7月1日)の「数値」 ⇒評価時点(7月1日)以降に事業を実施する場合、または実施したが今後[成果]の数値を把握する場合は「未」 ⇒事業を実施したが[成果]が生じていない場合、または事業を実施する予定がなく[成果]が生じない場合は「0」 	<p>目指す成果の状況の表示</p> <p>評価時点で[目指す成果]がどこまで上がっているかについて、ハコを囲む線により下記のとおり表示しています。</p> <table border="1"> <tr> <td>大きな成果が上がっている(出ている)</td> <td>一定の成果が上がっている(出ている)</td> <td>成果が上がっている(出ている)とはいえない</td> </tr> <tr> <td><table border="1"><tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table></td> <td><table border="1"><tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table></td> <td><table border="1"><tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table></td> </tr> </table> <p>矢印の太さによる表示</p> <p>戦略プロジェクトの期待する効果や意図実現に、特に貢献すると考える[成果]から[活動]までの流れ(特に重点化していきたい[成果]から[活動]までの流れ)について、矢印を太くしています。</p>	大きな成果が上がっている(出ている)	一定の成果が上がっている(出ている)	成果が上がっている(出ている)とはいえない	<table border="1"><tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	H29	H30	H31	■	■	■	<table border="1"><tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	H29	H30	H31	■	■	■	<table border="1"><tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	H29	H30	H31	■	■	■
大きな成果が上がっている(出ている)	一定の成果が上がっている(出ている)	成果が上がっている(出ている)とはいえない																										
<table border="1"><tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	H29	H30	H31	■	■	■	<table border="1"><tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	H29	H30	H31	■	■	■	<table border="1"><tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	H29	H30	H31	■	■	■								
H29	H30	H31																										
■	■	■																										
H29	H30	H31																										
■	■	■																										
H29	H30	H31																										
■	■	■																										
			<p>(単位 百万円)</p> <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>21</td><td>—</td><td></td></tr> </table> <p>B</p> <p>製造業粗付加価値額*1</p> <p>(単位 千万円)</p> <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>4,716</td><td>—</td><td></td></tr> </table> <p>C</p> <p>異業種交流における商談成立件数*2</p> <p>(単位 件)</p> <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>76</td><td>—</td><td></td></tr> </table> <p>*1製造業粗付加価値額 売上高から原材料費や仕入原価などの変動費を差し引いたもの。</p> <p>*2異業種交流における商談成立件数の目標値は、平成27年度からの累計である。</p>	H29	H30	H31	21	—		H29	H30	H31	4,716	—		H29	H30	H31	76	—								
H29	H30	H31																										
21	—																											
H29	H30	H31																										
4,716	—																											
H29	H30	H31																										
76	—																											

【戦略プロジェクト評価(平成30年度)】

戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト
期待する効果	産業の魅力・活力があふれるまちになる
重点取組期間	平成29～31年度
主管部等名	商工観光部 ・ 農林部
戦略プロジェクト統括マネージャー	沼田秀彦 商工観光部長 ・ 長澤秀則 農林部長

戦略プロジェクトに取り組み背景	戦略プロジェクトの取組の内容
人口を維持していくためには、若者がどれだけ盛岡に残り、定住してもらえるのかという課題があり、この課題解決のためには、「やりがいのある仕事」、「安定した雇用形態」、「相応の賃金」といった雇用の質を重視した取組が重要であり、経済・産業全体の付加価値や生産性の継続的な向上につなげていく必要がある。 人口減少を背景とした、農畜産物や工業製品等のマーケット縮小や農業の担い手不足が懸念される中、食と農に関わる事業者やものづくり産業に属する事業者が事業活動の展開を図り雇用を維持・創出することが重要課題となっている。	本市の魅力ある農畜産物などの地域資源を活用した取組を進めるとともに、関連する食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化やビジネス環境整備の取組により産業の振興を図る。 また、戦略的な企業誘致や企業支援のほか、新たな市場開拓や新商品開発等を目的とした異業種交流の促進により、活力あふれるまちづくりを推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
農畜産物 製造業	農畜産物の6次産業化により販売額が一定水準に達する。 製造業の高付加価値化を図る。

目標指標の状況・評価(平成30年7月時点)

実績値の推移				単位
指標① 農畜産物加工品販売額				百万円
当初値(H27)	18	H31目標値	27	目指す方向 ↗
指標② 製造業粗付加価値額				千万円
当初値(H27)	4,209	H31目標値	4,377	目指す方向 ↗
※ 製造業粗付加価値額… 売上高から原材料費や仕込原価などの変動費を差し引いたもの				
指標③ 異業種交流における商談成立件数				件
当初値(H27)	27	H31目標値	110	目指す方向 ↗
※ 目標値及び実績値はH27からの累計				

実績の評価	
「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析
<p>「盛岡りんご」の販売額が好調である (28年度:4,588千円, 29年度:7,251千円, 伸び率158.0%)</p> <p>「もりおか短角牛」の販売額が好調である (28年度:1,270千円, 29年度:1,540千円, 伸び率121.3%)</p>	<p>「盛岡りんご」 ・ジュースを中心に、販売額・販売数量ともに伸びている。 ・29年度からゼリードリンクを商品化した生産者が2名ある。 ・もりおかの食と農バリューアップ推進事業で催事の販売支援を行った生産者の販売額が増加している。</p> <p>「もりおか短角牛」 ・加工品の製造、販売の取組が販売額の増加に結び付き、一定の成果が現れている。</p>
「指標の目指す方向」に向けた問題点	問題点の要因分析
<p>「アロニア」の販売額が不調である (28年度:7,256千円, 29年度:5,960千円, 伸び率△17.9%)</p> <p>「津志田芋」の販売額が不調である (28年度:5,476千円, 29年度:2,603千円, 伸び率△52.5%)</p> <p>「行者にんにく」の販売額が不調である (28年度:3,426千円, 29年度:3,167千円, 伸び率△7.6%)</p>	<p>「アロニア」 ・需要がないことを理由に、リカースイーツの販売が中止された。 ・原材料の仕入れ価格見直しにより、アロニアティーの販売が減少した。</p> <p>「津志田芋」 ・28年度は「いわて国体」の開催に伴い、土産品としての芋焼酎販売が好調であったが、国体の終了により、29年度は27年度並みの販売額となった。</p> <p>「行者にんにく」 ・イベント販売に頼った上での販売額となっており、宣伝開発と販路拡大が必要である。</p>
「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析
<p>・設備投資が増加傾向である。</p>	<p>・経済情勢が上向きであるためと考えられる。</p>
「指標の目指す方向」に向けた問題点	問題点の要因分析
<p>・市内に製造業等の産業用地がほぼない状況にあり、地場企業の業務拡張、操業環境の向上に支障をきたしている。また、市内に新たに立地しようとする企業に対しても用地を斡旋できない状況である。</p> <p>・市産業支援施設入居企業の退去後の受け皿となる用地の不足等が課題となっている。</p> <p>・企業の設備投資の実績や今後の意向を把握しきれていない。</p>	<p>・産業用地が不足しているためであり、整備の必要がある。</p> <p>・事業者の意向等を細かく把握するため、積極的に企業訪問を行う必要があると認識しているが、現状では不十分である。</p>
「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析
<p>・第1回商談会開催後、6月末時点で6件の商談が成立した。</p>	<p>・魅力のある県内生産者に出店を促し、また、生産者が売りたいと思う業種のバイヤーに参加を呼びかけることで、商談会の魅力が向上したと考えられる。</p>
「指標の目指す方向」に向けた問題点	問題点の要因分析
<p>・参加事業者が固定化されてきている。</p>	<p>・新たな参加事業者の増加へ向けた魅力的なコンテンツが足りなかったものと考えられる。</p>

今後の展開(評価時点～平成31年度)

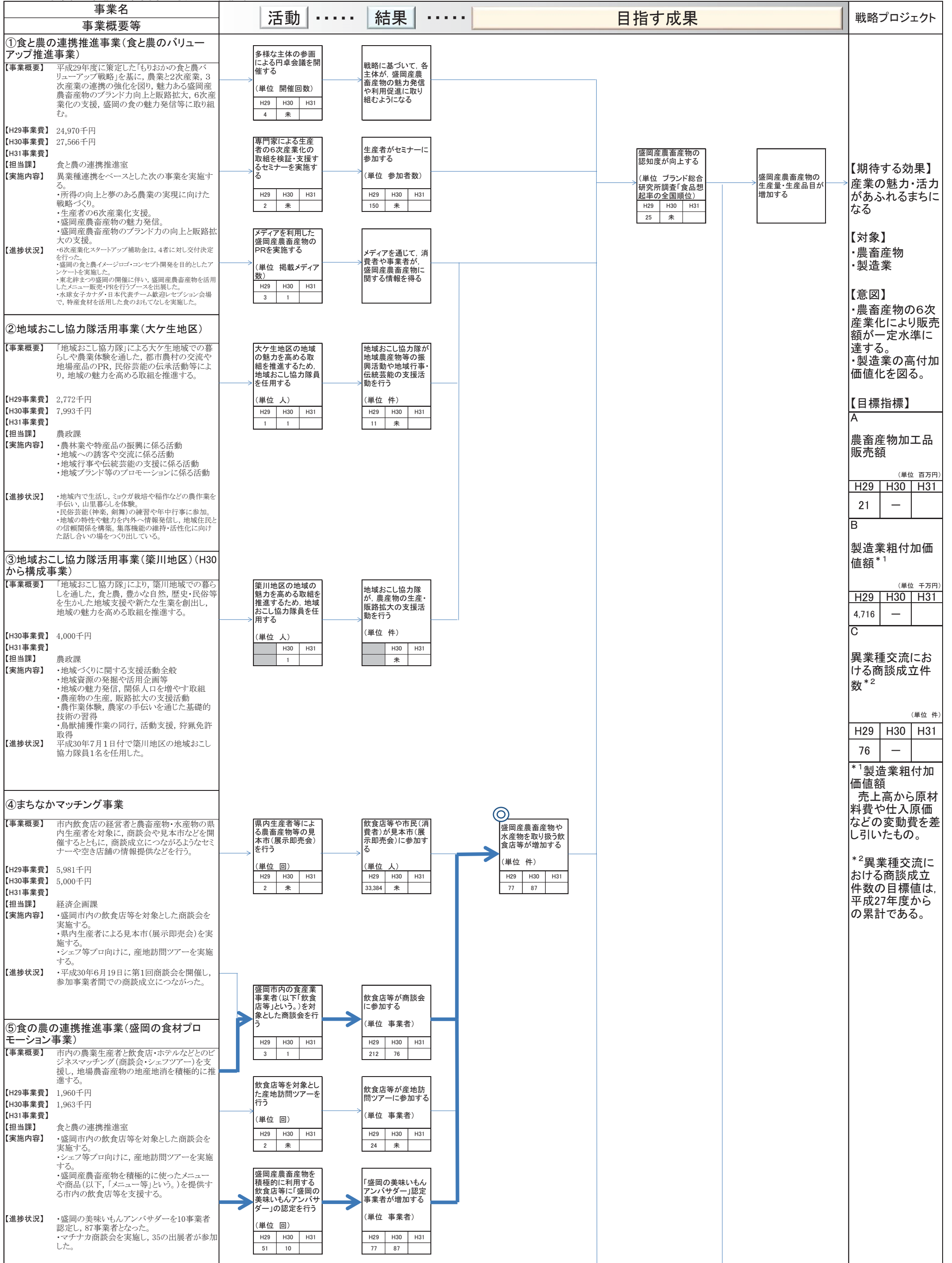
評価を踏まえた今後の取組
<p>☆1 販売額が好調な「盛岡りんご」は、「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」に基づくアクションプランを確実に実行し、さらなる販売額の増加を目指すこととする。また、タイ、ベトナム、台湾への輸出に加え、カナダなど海外への輸出拡大に向けた農協の取組に対し、側面から支援を行い、販路拡大に結び付ける。</p> <p>☆2 販売額が好調な「もりおか短角牛」は、「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」に基づくアクションプランを確実に実行し、さらなる販売額の増加を目指すこととする。また、もりおか短角牛の振興を図る取組を引き続き実施する。また、春から夏にかけて不足するもりおか短角牛の供給量の確保を図るために、引き続き、肥育農家に対する子牛購入経費の一部を助成する。</p> <p>☆3 「アロニア」は、築川地区に着任した地域おこし協力隊員と連携しながら、新たな商品開発や販売促進活動に取り組み、販売額の増加に結び付けたい。</p> <p>☆4 「津志田芋」は、30年度以降の芋焼酎の製造について、製造、販売者等関係者との協議を要する。</p> <p>☆5 「行者にんにく」は、藪川地区に着任した地域おこし協力隊員と連携しながら、新たな商品開発や販売促進活動に取り組み、販売額の増加に結び付けたい。</p> <p>☆6 盛岡産農畜産物の生産量の拡大の一端を担う新規就農者の確保と育成のため、引き続き支援を行う。</p>
<p>☆1 新産業等用地の整備を進める。道明地区の準工業地域のうち、第一事業区については、平成33年2月までに整備が完了するよう、関係各部署との調整を行い、事業の円滑な推進を図る。</p> <p>☆2 地場企業を含め、新設・拡充・移転等の意向把握に努め、早期の売却を図り、操業環境や生産性の向上を目指す。</p>
<p>☆1 商談会を全3回開催し、商談成立件数を増加させる。</p> <p>☆2 商談会のほかに、見本市や産地訪問見学会を開催し、情報発信の機会とするとともに、商談会の効果を上げる。</p> <p>☆3 商談会において、出展者の食材を使用した新メニューを提案するなど、商談会への参加業者の増加に向け、内容を工夫する。</p>

(余白)

ロジックモデルシート(平成30年度評価)

戦略プロジェクト名 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト 主管部名 商工観光部・農林部

※H30年度の数値は、評価時点の数値。



事業名 事業概要等	活動	結果	目指す成果	戦略プロジェクト																																																				
⑥商店街活性化支援事業(まちなか出店促進事業) 【事業概要】 中心市街地の空き店舗に出店する際の改装費の補助に加え、地元食材などを提供する店舗出店に対する補助を実施する。 【H29事業費】 1,390千円 【H30事業費】 2,800千円 【H31事業費】 【事業担当課】 経済企画課 【実施内容】 ・中心市街地の空き店舗に出店する際の改装費に補助金を支出する。 盛岡の農畜産物や工芸品等を取り扱う中心市街地の店舗の仕入れ経費に補助金を支出することで、出店を促進する。 【進捗状況】 ・平成30年度は、空き店舗に出店する際の改装費への補助について、3件が支出済(予定)であり、更に数件の相談がある。	中心市街地の空き店舗に出店する際の改装費に補助金を交付する (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>5</td><td>3</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	5	3		中心市街地に盛岡の農畜産物や工芸品等を取り扱う店舗が増加する (単位 店舗) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>0</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	0	未			【期待する効果】 産業の魅力・活力があふれるまちになる 【対象】 ・農畜産物 ・製造業 【意図】 ・農畜産物の6次産業化により販売額が一定水準に達する。 ・製造業の高付加価値化を図る。 【目標指標】 A 農畜産物加工品販売額 (単位 百万円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>21</td><td>—</td><td></td></tr> </table> B 製造業粗付加価値額 ^{*1} (単位 千万円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>4,716</td><td>—</td><td></td></tr> </table> C 異業種交流における商談成立件数 ^{*2} (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>76</td><td>—</td><td></td></tr> </table> ^{*1} 製造業粗付加価値額 売上高から原材料費や仕入原価などの変動費を差し引いたもの。 ^{*2} 異業種交流における商談成立件数の目標値は、平成27年度からの累計である。	H29	H30	H31	21	—		H29	H30	H31	4,716	—		H29	H30	H31	76	—																							
H29	H30	H31																																																						
5	3																																																							
H29	H30	H31																																																						
0	未																																																							
H29	H30	H31																																																						
21	—																																																							
H29	H30	H31																																																						
4,716	—																																																							
H29	H30	H31																																																						
76	—																																																							
⑦新規就農支援事業(H29は新規就農・経営承継総合支援事業) 【事業概要】 就農のきっかけづくりとして現地見学会の開催や相談業務を行うとともに、新規就農者には、農業次世代人材投資資金や親元就農給付金を支給し、新たな農業の担い手確保・育成に努める。 【H29事業費】 19,579千円 【H30事業費】 27,678千円 【H31事業費】 【担当課】 農政課 【実施内容】 新規就農者の掘起こしと給付金の交付事務を行う。 ・農業次世代人材投資資金…年間最大150万円(夫婦225万円)、最長5年間。 ・親元就農給付金…年間最大60万円、最長2年間。 【進捗状況】 ・親元就農給付金について、新たに3名の就農者からの申請を受けた。 ・農業次世代人材投資資金について、継続中の就農者のほか、新たに2名の就農者から給付の相談を受けた。	農業次世代人材投資資金を交付する (単位 交付件数) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>16</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	16	未		農業次世代人材投資資金を活用した新規就農者が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>16</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	16	未																																											
H29	H30	H31																																																						
16	未																																																							
H29	H30	H31																																																						
16	未																																																							
	親元就農給付金を交付する (単位 交付件数) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>3</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	3	未		親元就農給付金を活用した新規就農者が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>3</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	3	未																																											
H29	H30	H31																																																						
3	未																																																							
H29	H30	H31																																																						
3	未																																																							
⑧畜産振興事業(もりおか短角牛肥育経営安定化対策事業) 【事業概要】 もりおか短角牛の生産維持と畜産振興を図るため、子牛(肥育素牛)の導入経費に対する補助を実施する。 【H29事業費】 2,867千円 【H30事業費】 5,000千円 【H31事業費】 【担当課】 農政課 【実施内容】 補助対象 もりおか短角牛肥育農家 補助内容 子牛(肥育素牛)の購入価格が1頭につき15万円を超える場合、その超えた額の4/5に相当する額以内の額を補助(上限25万円)する。 【進捗状況】 平成29年度に引き続き、肥育素牛の購入に対する補助を実施する。	もりおか短角牛肥育農家に対し、子牛(肥育素牛)購入に係る補助金を交付する (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>2,867</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	2,867	未		もりおか短角牛の子牛(肥育素牛)を導入する農家が増加する (単位 経営体) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>3</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	3	未		もりおか短角牛の肥育頭数が増加する (単位 頭) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>51</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	51	未		もりおか短角牛の出荷頭数が増加する (単位 頭) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>20</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	20	未																													
H29	H30	H31																																																						
2,867	未																																																							
H29	H30	H31																																																						
3	未																																																							
H29	H30	H31																																																						
51	未																																																							
H29	H30	H31																																																						
20	未																																																							
⑨畜産振興事業(もりおか短角牛振興事業) 【事業概要】 もりおか短角牛フェアを通じ、飲食店とのマッチングやPR活動を行い、もりおか短角牛の振興を図るため、もりおか短角牛振興協議会へ補助金を支出する。 【H29事業費】 300千円 【H30事業費】 300千円 【H31事業費】 【担当課】 農政課 【実施内容】 もりおか短角牛振興協議会に補助金を支出する。 【進捗状況】 ・平成29年度と同様に、「もりおか短角牛フェア」の実施を検討。31年1月～3月を予定している。 ・東北絆まつり盛岡の開催に伴い、食と農のハブアップ推進事業と連携したPRブースを出展した。	もりおか短角牛振興協議会に対し、補助金を交付する (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>300</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	300	未		もりおか短角牛振興協議会が、もりおか短角牛フェアなど普及宣伝に係るPR事業を行う (単位 店舗) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>26</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	26	未		もりおか短角牛を利用する飲食店が増加する (単位 店舗) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>26</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	26	未		もりおか短角牛の認知度が向上する (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>76</td><td>—</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	76	—																													
H29	H30	H31																																																						
300	未																																																							
H29	H30	H31																																																						
26	未																																																							
H29	H30	H31																																																						
26	未																																																							
H29	H30	H31																																																						
76	—																																																							
⑩地域おこし協力隊活用事業(玉山地域) 【事業概要】 「地域おこし協力隊」により、玉山地域の地域資源を活用し、ユートランド姫神を軸として都市と農村との交流を促進し、玉山地域の活性化につなげる取組を実施する。 【H29事業費】 5,008千円 【H30事業費】 7,515千円 【H31事業費】 【担当課】 産業振興課 【実施内容】 ユートランド姫神など地域拠点施設への誘客促進や交流・観光拠点、地域農業の6次産業化拠点として同施設を軸とした、玉山地域のニューツーリズムの企画運営を行う。 【進捗状況】 平成29年度に、玉山地域のガイド養成講座を実施し、ガイドの担い手となり得る方々と地域おこし協力隊との間に繋がりを持つことができた。平成30年度になり、その方々とユートランド姫神を軸とした体験プログラム等の企画をするまで至っている。	地域おこし協力隊と市指定管理者等が各種事業を企画実施する (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	1			ユートランド姫神などの地域拠点施設でのイベント等に市民等が参加する (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	20			ユートランド姫神の交流ホールの利用客が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>11,941</td><td>1,083</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	11,941	1,083		ユートランド姫神の宿泊客数が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>3,496</td><td>1,207</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	3,496	1,207		ユートランド姫神の日常温泉客が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>75,681</td><td>29,917</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	75,681	29,917		ユートランド姫神の交流ホールの営業利益が増加する (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>8,117</td><td>4,407</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	8,117	4,407		ユートランド姫神の営業利益が増加する (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>59,638</td><td>24,617</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	59,638	24,617		ユートランド姫神の経常利益が増加する (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>-3,157</td><td>2,910</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	-3,157	2,910	
H29	H30	H31																																																						
1																																																								
H29	H30	H31																																																						
20																																																								
H29	H30	H31																																																						
11,941	1,083																																																							
H29	H30	H31																																																						
3,496	1,207																																																							
H29	H30	H31																																																						
75,681	29,917																																																							
H29	H30	H31																																																						
8,117	4,407																																																							
H29	H30	H31																																																						
59,638	24,617																																																							
H29	H30	H31																																																						
-3,157	2,910																																																							
⑪玉山地域賑わい創出事業(総合交流ターミナル機能の拡充)(H29のみ構成事業) 【事業概要】 ユートランド姫神の再整備により、都市部等の若者をターゲットに「非日常空間を提供する施設」として、交流・観光拠点、地域農業の6次産業化拠点としての機能を拡充する。 【H29事業費】 95,490千円(H28繰越分) 【担当課】 産業振興課 【実施内容】 交流ホール、宿泊棟、クアハウス等の改修や屋外交流サイトの新築など機能拡充の施設整備を行う。 施設等の効果促進のため、ユートランド姫神を拠点とした交流・体験促進事業や消費・販路拡大事業などのソフト事業を実施する。 【進捗状況】 30年3月末までに、施設整備事業及び設備等整備やソフト事業を完了し、30年4月8日から営業を再開した。(29年11月6日から郷土食と宿泊の営業を、12月18日から全館の営業を休止した。)	ユートランド姫神の施設を再整備し機能を拡充する (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>95,490</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	95,490			盛岡農畜産物を販売・提供する拠点がユートランド姫神に整備される																																																
H29	H30	H31																																																						
95,490																																																								

事業名 事業概要等	活動	結果	目指す成果	戦略プロジェクト																														
⑱産業支援事業 【事業概要】 大学等との産学共同研究やクリエイティブ産業と他分野との連携により新たな価値の創造やニーズの発掘につながる、新規性・独創性のあ る取組に対し、経費の一部を助成する。 【H29事業費】 1,922千円 【H30事業費】 2,317千円 【H31事業費】 【担当課】 ものづくり推進課 【実施内容】 ・産学官共同研究事業等補助 ・クリエイティブプロジェクト育成事業補助 【進捗状況】 産学官共同研究事業等補助は審査委員会を開催し4件を採択した。 クリエイティブプロジェクト育成事業補助は審査委員会を開催し1件を採択済みであるが、追加募集を行い7月の審査会で1件追加採択の予定。	大学等との共同研究を希望する者に補助金を交付する (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>650</td><td>989</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	650	989		大学等との共同研究を行う者が増加する (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>2</td><td>4</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	2	4		市場等のニーズに応じた新製品、新技術の開発やネットワークが形成される	【期待する効果】 産業の魅力・活力があふれるまちなになる 【対象】 ・農畜産物 ・製造業 【意図】 ・農畜産物の6次産業化により販売額が一定水準に達する。 ・製造業の高付加価値化を図る。 【目標指標】 A 農畜産物加工品販売額 (単位 百万円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>21</td><td>—</td><td></td></tr> </table> B 製造業粗付加価値額*1 (単位 千万円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>4,716</td><td>—</td><td></td></tr> </table> C 異業種交流における商談成立件数*2 (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>76</td><td>—</td><td></td></tr> </table> *1製造業粗付加価値額 売上高から原材料費や仕入原価などの変動費を差し引いたもの。 *2異業種交流における商談成立件数の目標値は、平成27年度からの累計である。	H29	H30	H31	21	—		H29	H30	H31	4,716	—		H29	H30	H31	76	—	
H29	H30	H31																																
650	989																																	
H29	H30	H31																																
2	4																																	
H29	H30	H31																																
21	—																																	
H29	H30	H31																																
4,716	—																																	
H29	H30	H31																																
76	—																																	
⑲ものづくり産業魅力向上事業 【事業概要】 盛岡地域で生まれた優れた工芸品の普及、商品力の向上を図るため、都市圏等の展示施設において、実演販売等による出展を行う。また、盛岡手づくり村に盛岡地域で活動する工芸品事業者や商品の情報を集約し、ものづくりの面白さや魅力発信の強化を図る。 【H29事業費】 2,122千円 【H30事業費】 2,122千円 【H31事業費】 【担当課】 ものづくり推進課 【実施内容】 盛岡地域ものづくり産業魅力向上事業業務委託 【進捗状況】 (公財)盛岡地域地場産業振興センターに業務委託を行い、出展を3回行なう計画で準備を行った。	盛岡広域の伝統工芸品事業者の振興に係る事業を業務委託により実施し、(公財)盛岡地域地場産業振興センターに委託料を支出する (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>2,122</td><td>2,122</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	2,122	2,122		(公財)盛岡地域地場産業振興センターが首都圏等において工芸品の展示会を開催する (単位 回) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>2</td><td>未</td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	2	未		首都圏等における地場の工芸品の認知度が向上する 首都圏等における地場の工芸品に関する購買ニーズが把握される 出展商品の充実が図られる	首都圏等における地場の工芸品の販路が拡大する 地場・伝統産業の売上が増加する																		
H29	H30	H31																																
2,122	2,122																																	
H29	H30	H31																																
2	未																																	
⑳地場・伝統産業振興事業(特産品ブランド振興事業)(H30から構成事業) 【事業概要】 盛岡の特色豊かな工芸品や食品、農産物等を広く全国にアピールするため、新たな盛岡ブランド品認定制度により、販売促進、販路拡大を図る。 【H30事業費】 194千円 【H31事業費】 【担当課】 ものづくり推進課 【実施内容】 ・盛岡ブランド品認定会議を開催 ・盛岡ブランド品プレミアム品の認定 ・盛岡ブランド品プレミアム品のプロモーション 【進捗状況】 盛岡ブランド品認定制度懇話会を2回開催し、要綱案を固めた。	盛岡ブランド品認定会議を開催する (単位 開催回数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td></tr> </table>	H30	H31	未		盛岡ブランド品が認定される (単位 品目) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td></tr> </table>	H30	H31	未		盛岡プレミアムブランド品が認定される (単位 品目) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td></tr> </table>	H30	H31	未		ブランド品に認定された地場・伝統産業の商品が全国にアピールされる (単位 HP閲覧数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td></tr> </table>	H30	H31	未		盛岡の地場・伝統産業の商品の魅力が伝わる													
H30	H31																																	
未																																		
H30	H31																																	
未																																		
H30	H31																																	
未																																		
H30	H31																																	
未																																		

【戦略プロジェクト評価(平成30年度)】

戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト
期待する効果	盛岡で子どもを産み育てたいと思われるまちになる
重点取組期間	平成30～32年度
主管部等名	子ども未来部
戦略プロジェクト統括マネージャー	藤澤忠範 子ども未来部長

戦略プロジェクトに取り組み背景	戦略プロジェクトの取組の内容
生産年齢人口の減少が進む中、活力ある社会を築いていくため、若い世代にとって暮らしやすい、子育てがしやすい、また女性にとって社会進出がしやすいなど、若い世代や女性が住み続けたいとなるまちをつくることが本市の重要課題となっている。	若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実する。 また、子育ての相談や子どもの健全な成長を支援する体制の充実を図り、盛岡に住み続けたいと思える、安心して子育てのできるまちを実現する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
子育てをしている人 子ども	子育てしやすいと感じ、子育てに関する不安が少なくなる。 家庭環境や経済状況によらず、健やかに育つ。

目標指標の状況・評価(平成30年7月時点)

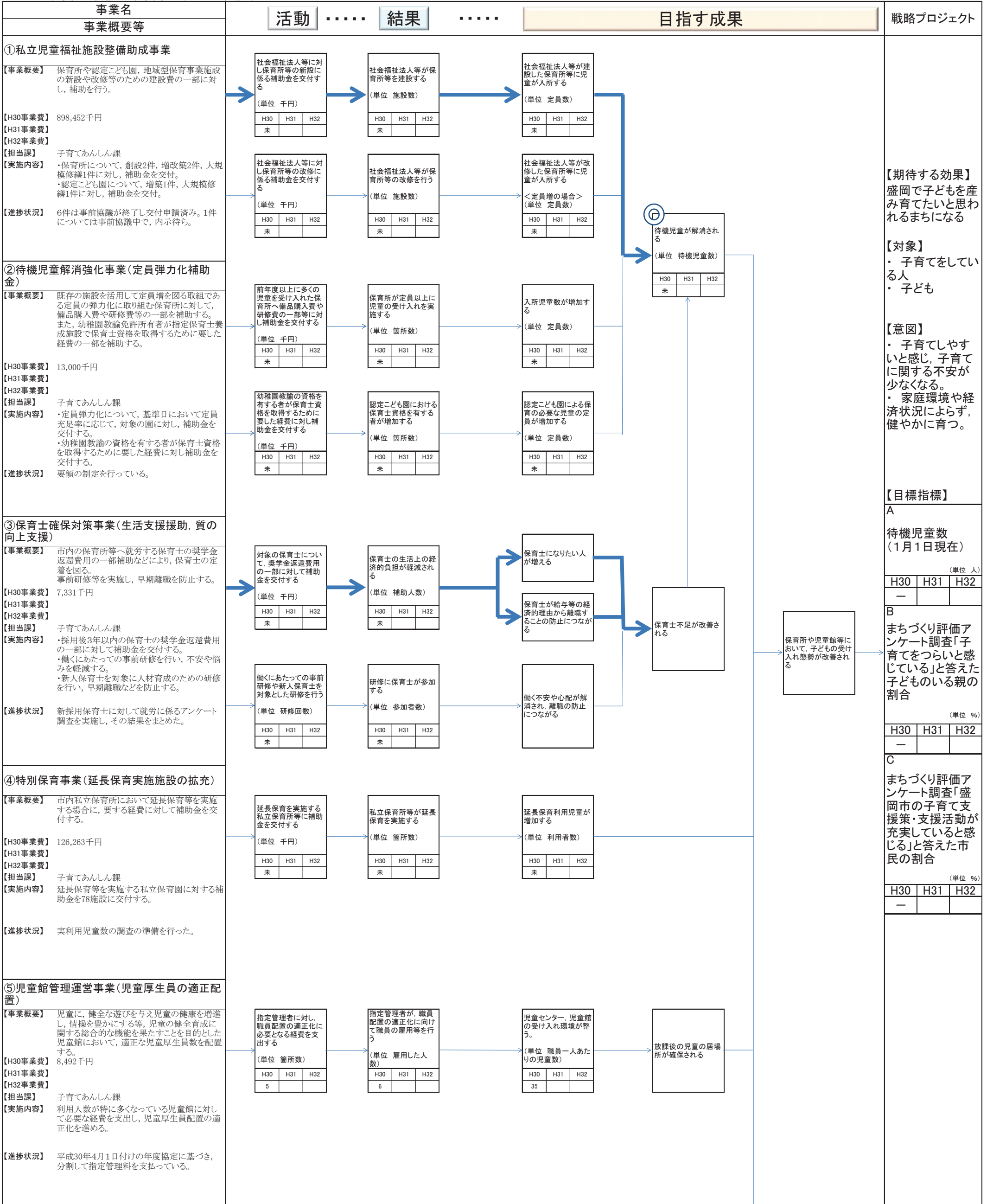
実績値の推移				実績の評価	
指標① 待機児童数(1月1日現在)				「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析
当初値(H27)	0	H32目標値	0	目指す方向	↘
				<ul style="list-style-type: none"> ・認可保育所、小規模保育所、企業主導型保育事業所等の定員拡大を進め、平成30年4月入所に向けて165名の定員拡大を図った。 ・保育事業者の協力を得て、定員を超えて89名の児童が保育所に入所できた。 ・保育士奨学金返済補助事業により、99名の保育士の奨学金の返済に補助を行い、経済的支援により保育士の離職防止に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人等からの保育所開設の相談に応じるとともに、幼稚園へ認定こども園への移行や認可外保育所へ地域型保育事業への転換に対する積極的な働きかけ、助言・指導を行ってきたことが定員拡大に繋がっている。 ・保育士が働き続けられるよう処遇改善や、出産・育児との両立支援など潜在保育士が現場復帰しやすい環境づくりに取り組んできたことが保育士確保に繋がっていると考える。
「指標の目指す方向」に向けた問題点				問題点の要因分析	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育需要の増加が急速なペースで進行していることから、待機児童の解消の取り組みが追いついていない。特に盛南地域、都南地域が問題となっている。 ・保育所の定員の拡大とともに保育士の確保が課題となる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・女性の社会進出や育児休業後職場復帰するため保育所入所希望者が増加していること。 ・処遇改善に積極的に取り組んでいる。関東地方の都市に保育士が流れてしまっていること。 	
指標② まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合				「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析
当初値(H27)	22.0	H32目標値	13.6	目指す方向	↘
				<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月に、新たな子育て応援の拠点施設「もりおか子育て応援プラザma*mall」を開設し、29年度は7,150人の利用があった。 ・乳児家庭全戸訪問の訪問率が向上した(28年度実績90.3% 29年度実績95.2%)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もりおか子育て応援プラザの開設により、子育て中の親子の交流が促進された。子育て支援ニーズに関するアンケート調査では、充実を望む支援策として「子連れでもでかけやすく楽しめる場所」を求める声が70.1%と高いことから、施設を充実させて利用者を増やすことが、子育ての不安感や孤立感の解消につながるものと考えられる。 ・訪問体制を整えたことで、訪問率が向上した。産後の女性の支援ニーズに関する調査において、産後に利用したサービスは「専門職による赤ちゃん訪問」がもっとも多く、「産後の不安・心配あり」「産後の不安・心配なし」のそれぞれの群に分けた比較では、「不安・心配あり」群が「不安・心配なし」群の2.7倍「専門職による赤ちゃん訪問」を利用していたことから、訪問率を上げることが、子育て不安の解消につながるものと考えられる。
「指標の目指す方向」に向けた問題点				問題点の要因分析	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをつらいと感じている子育て中の市民の割合が増加傾向にある。 				<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化の進行を背景に、子育て支援ニーズが多様化・複雑化しており、妊娠期・出産期から就学期に至るまでの切れ目のない支援と、社会全体で子育てを支える機運の醸成が求められているが、子育ての負担感を改善しうる水準に至っていない。 ・児童数が増加している盛南地区において地域子育て支援拠点が不足している。 ・「産後うつ」にかかりやすい産後間もなくの時期の支援体制が必要となっている。 	
指標③ まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合				「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析
当初値(H27)	13.3	H32目標値	42.0	目指す方向	↗
				<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月に、新たな子育て応援の拠点施設「もりおか子育て応援プラザma*mall」を開設し、29年度は7,150人の利用があった。 ・子ども未来基金を活用した補助事業により、12の個人・団体が子ども・子育て支援の活動を行った。 ・女性の社会進出などを背景に高まる保育ニーズに、保育所入所定員の拡大等により一定程度応えることができた。 ・30年度から中学生医療費助成を開始。医療費助成の対象を拡充することにより子育て世代の経済的負担を軽減することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もりおか子育て応援プラザの開設により、子育て中の親子の交流が促進された。子育て支援ニーズに関するアンケート調査では、充実を望む支援策として「子連れでもでかけやすく楽しめる場所」を求める声が70.1%と高いことから、施設を充実させて利用者を増やすことが、子育ての不安感や孤立感の解消につながるものと考えられる。 ・社会全体で子育てを支える機運が高まり、民間の子ども・子育て支援の取組が活発化したため。 ・地域型保育事業や企業主導型保育事業等多様な保育事業が生まれ、保育事業を検討している法人等が参入しやすくなったと思われる。 ・将来にわたって継続的に実施するための財源の目処がたったことによる。
「指標の目指す方向」に向けた問題点				問題点の要因分析	
<ul style="list-style-type: none"> ・「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合が横ばい状態である。 ・年間を通じた待機児童0の達成に至っていない。 ・医療費給付事業について、市民等から次の要望があり、検討が必要である。 自己負担額の全額無料化 小学生までの現物給付の実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が増加している盛南地区において地域子育て支援拠点が不足している。 ・保育所入所定員の拡大を超えて、保育ニーズが高まった。 ・自己負担額の全額無料化は継続的に多額の経費を要する。 ・医療費給付事業の給付方式を現物給付方式とすることによって国民健康保険国庫負担金の減額措置があり、国保財政に大きな負担が生じる。(30年度から未就学児の国民健康保険国庫負担金の減額措置の廃止は示されたが、全ての子ども医療費について撤廃されていない。) 	

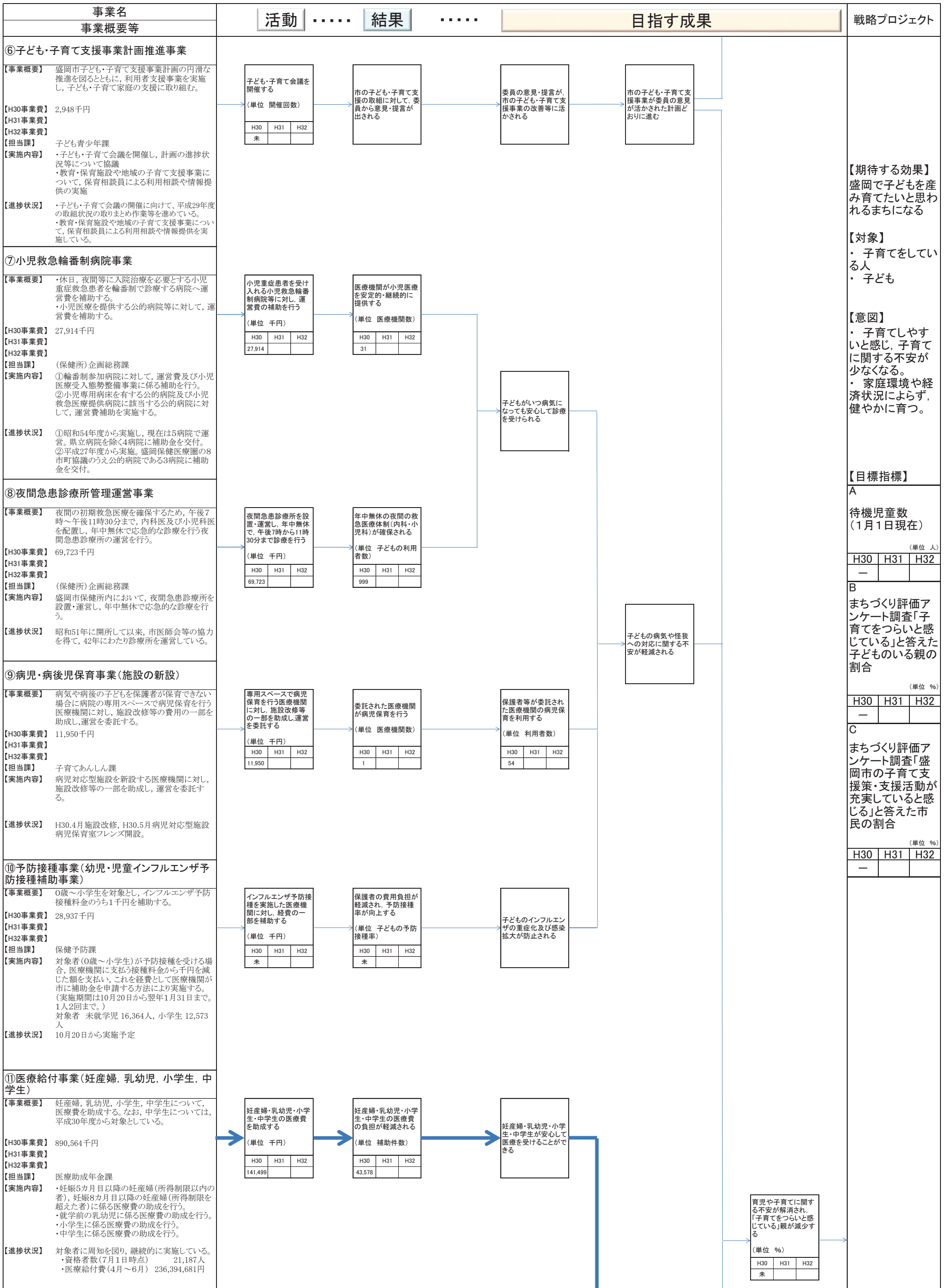
今後の展開(評価時点～平成31年度)

評価を踏まえた今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ☆1 待機児童が多く発生している盛南地域、都南地域に重点的に保育施設の定員を確保する。 ☆2 保育士の確保に向けて、雇用環境の改善に重点的に取り組む。
<ul style="list-style-type: none"> ☆1 児童数が増加している盛南地区への地域子育て支援拠点の開設を検討する。 ☆2 30年度から実施しているアウトリーチ型の「産後ケア」及び産婦人科医療機関での「産婦健康診査」費用の助成制度を継続する。 ☆3 30年度から、身近な場所で子どもや保護者に寄り添って継続的な相談・支援を行なう子ども家庭総合支援センターを設置し、28年度に設置した子育て世代包括支援センターと一体的に、愛称「子ども未来ステーション」として運営することで、妊娠期からの切れ目のない相談支援体制の構築を図ったところであり、今後この体制により寄り添った支援体制を進める。
<ul style="list-style-type: none"> ☆1 児童数が増加している盛南地区への地域子育て支援拠点の開設を検討する。 ☆2 子ども未来基金を活用した補助制度の予算を増額し、個人・団体による子ども・子育て支援活動のさらなる促進を図る。 ☆3 年間を通じた待機児童の解消に向けて、「盛岡市待機児童対策緊急プロジェクト」として、保育定員の拡大や保育士確保に重点的に取り組む。 ☆4 医療費給付事業の拡大について、継続的に検討を行う。 ・未就学児の全額無料化について、年間医療費の試算などを行い、確実に実施できるかを検討。 ・医療費給付事業の現物給付方式導入は、県及び県内市町村が統一して行っていることから、県内市町村と連携を図り、県に現物給付方式の導入を要請。 ・国民健康保険国庫負担金の減額措置撤廃について、全国市長会、中核市市長会、県市長会を通じて引き続き要望。

(余白)

※H30年度の数値は、評価時点の数値。





事業名 事業概要等	活動 …… 結果 ……	目指す成果	戦略プロジェクト																														
⑫就学援助事業(小学校)(学用品費の入学前支給) 【事業概要】 経済的に困難な状況の児童の保護者に対して学用品費等を援助する就学援助事業について、小学校に入学する際に必要な費用の支給を、入学準備の時期に実施する。 【H30事業費】 7,755千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【担当課】 学務教職員課 【実施内容】 経済的に困難な状況の小学校就学予定者の保護者に対し、就学援助事業の周知を図り、小学校入学の際に必要な費用の支給を実施する。 【進捗状況】 支給対象となる小学校入学予定者に対する周知について準備中	経済的に困難な状況の児童の保護者に対して、小学校に入学する際に必要な費用の支給を、入学準備の時期に行う (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table> 経済的に困難な状況の児童の保護者が、小学校に入学する際に必要な学用品等を購入する (単位 支給者数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table> 経済的に困難な状況の児童の保護者が、安心して入学準備をすることができる	H30	H31	H32	未			H30	H31	H32	未			子育てに関する経済的不安が軽減される	【期待する効果】 盛岡で子どもを産み育てたいと思われるまちになる 【対象】 ・ 子育てをしている人 ・ 子ども 【意図】 ・ 子育てしやすいと感じ、子育てに関する不安が少なくなる。 ・ 家庭環境や経済状況によらず、健やかに育つ。																		
H30	H31	H32																															
未																																	
H30	H31	H32																															
未																																	
⑬就学援助事業(中学校)(学用品費の入学前支給) 【事業概要】 経済的に困難な状況の生徒の保護者に対して学用品費等を援助する就学援助事業について、中学校に入学する際に必要な費用の支給を、入学準備の時期に実施する。 【H30事業費】 10,286千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【担当課】 学務教職員課 【実施内容】 経済的に困難な状況の中学校就学予定者の保護者に対し、就学援助事業の周知を図り、中学校入学の際に必要な費用の支給を実施する。 【進捗状況】 支給対象となる小学校6年生の就学援助の周知及び審査作業中	経済的に困難な状況の生徒の保護者に対して、中学校に入学する際に必要な費用の支給を、入学準備の時期に行う (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table> 経済的に困難な状況の生徒の保護者が、中学校に入学する際に必要な学用品等を購入する (単位 支給者数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table> 経済的に困難な状況の生徒の保護者が、安心して入学準備をすることができる	H30	H31	H32	未			H30	H31	H32	未				【目標指標】 A 待機児童数 (1月1日現在) (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> B まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合 (単位 %) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> C まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 (単位 %) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	—			H30	H31	H32	—			H30	H31	H32	—		
H30	H31	H32																															
未																																	
H30	H31	H32																															
未																																	
H30	H31	H32																															
—																																	
H30	H31	H32																															
—																																	
H30	H31	H32																															
—																																	
⑭子ども家庭総合支援拠点事業 【事業概要】 児童虐待の発生予防と早期発見、早期対応を行うため、子どもや保護者に寄り添い、訪問等による継続的な相談・支援を行うための「子ども家庭総合支援拠点」を設置する。 【H30事業費】 13,126千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【担当課】 子ども青少年課 【実施内容】 要支援児童、要保護児童等及びその家庭、特定妊婦等に対し、相談や在宅支援サービスの調整など、必要な支援を行なう。 【進捗状況】 要支援児童、要保護児童等及びその家庭、特定妊婦等に対し、相談や在宅支援サービスの調整など、必要な支援を行なっている。	児童虐待に関する相談や通報を受け付ける。 (単位 受付件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>140</td><td></td><td></td></tr> </table> 子ども家庭支援員等が、訪問、電話や面接による支援を行う。 (単位 ケース数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>1,410</td><td></td><td></td></tr> </table> 家庭に寄り添った対応により、支援が終結する (単位 支援が終結した件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td></tr> </table> 児童虐待が減少する (単位 虐待件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	140			H30	H31	H32	1,410			H30	H31	H32	7			H30	H31	H32	未										
H30	H31	H32																															
140																																	
H30	H31	H32																															
1,410																																	
H30	H31	H32																															
7																																	
H30	H31	H32																															
未																																	
⑮子育て世代包括支援センター事業 【事業概要】 妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する悩み等の相談を受け、切れ目のない支援を行う。手厚い支援を要する者に対し、支援プランを策定しながら支援を行う。 【H30事業費】 9,896千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【担当課】 子育て世代包括支援センター 【実施内容】 ・母子健康手帳交付及び妊婦相談 ・ハイリスク妊産婦家庭訪問、支援プランの作成 ・妊娠・出産・育児に関する窓口、電話での随時相談 【進捗状況】 保健師、助産師、社会福祉士の専門性を活かして、ハイリスク妊産婦の継続支援を行っている。	妊産婦や子育て家庭の相談を窓口や電話等で実施する (単位 延件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>451</td><td></td><td></td></tr> </table> 支援が必要なハイリスク妊産婦に対し家庭訪問を行う (単位 延件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>44</td><td></td><td></td></tr> </table> 妊産婦等が子育て支援に関する情報提供を受ける 妊産婦等が、必要な子育て支援事業を利用することができる 乳幼児のいる家庭の養育環境等が把握される 支援が必要な乳幼児のいる家庭に対し、支援を行う (単位 支援延件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>88</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	451			H30	H31	H32	44			H30	H31	H32	88																
H30	H31	H32																															
451																																	
H30	H31	H32																															
44																																	
H30	H31	H32																															
88																																	
⑯乳児家庭全戸訪問等事業 【事業概要】 生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、子育てに関する情報提供及び養育環境等の把握を行い、必要な家庭に対し支援を行う。 【H30事業費】 5,704千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【担当課】 子育て世代包括支援センター 【実施内容】 ・在宅訪問員(委託)、非常勤訪問指導員、母子健康課、健康福祉課、子育て世代包括支援センター保健師、助産師が訪問する。産後うつ質問紙を活用して、産婦のメンタルヘルスを確認しながら母子の健康状態と養育環境を把握し、必要な子育て情報の提供と支援を行う。 【進捗状況】 非常勤助産師の活動していた車が使用できなくなり、訪問件数は前年度より減少している。訪問担当者で連携をとりながら、タイムリーな訪問をしている。	保健師、助産師、在宅訪問員が、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問する (単位 訪問件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>507</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	507																												
H30	H31	H32																															
507																																	

事業名 事業概要等	活動 …… 結果 ……			目指す成果			戦略プロジェクト																												
<p>⑰ 母子保健事業（産婦健康診査事業）</p> <p>【事業概要】 産後の間もない時期に、産婦に対する健康診査を実施し、身体機能の回復や授乳状況、精神状態を把握することにより、産後うつ等の予防及び新生児への虐待予防と産婦の経済的負担の軽減を図る。</p> <p>【H30事業費】 12,279千円 【H31事業費】 【H32事業費】</p> <p>【担当課】 母子健康課</p> <p>【実施内容】 岩手県内の医療機関に委託し、産婦健康診査を実施する。 健診内容)問診、診察、体重・血圧測定、尿検査、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんの気持ち質問票 健診時期)産後2週間、産後1か月 健診料)1回5,000円 ※県外受診については償還払いにて助成する 6月から事業開始し、県内の医療機関から受診結果が届いている。連絡があった産婦については担当者が対応中である。</p> <p>【進捗状況】</p>	<p>産婦健康診査の実施を県内の医療機関に委託する</p> <p>(単位 委託契約数)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	8			<p>委託を受けた医療機関が、産婦健康診査(2週間・1か月)を実施する</p> <p>(単位 受診延数)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>73</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	73			<p>産後うつなど、支援が必要な産婦が把握される</p> <p>(単位 支援が必要な人数)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	2			<p>妊産婦等の心身の健康状態や新生児、幼児の養育環境が改善される</p>	<p>【期待する効果】 盛岡で子どもを産み育てたいと思われるまちになる</p> <p>【対象】 ・ 子育てをしている人 ・ 子ども</p> <p>【意図】 ・ 子育てしやすいと感じ、子育てに関する不安が少なくなる。 ・ 家庭環境や経済状況によらず、健やかに育つ。</p>												
H30	H31	H32																																	
8																																			
H30	H31	H32																																	
73																																			
H30	H31	H32																																	
2																																			
<p>⑱ 母子保健事業（産後ケア事業）</p> <p>【事業概要】 産後に家族等から十分な支援を受けられない母子等支援が必要と認められた産婦に対し、心身のケアや育児のサポートを行う。また、産婦健康診査から把握された要支援産婦に対しケアを行う。</p> <p>【H30事業費】 759千円 【H31事業費】 【H32事業費】</p> <p>【担当課】 母子健康課</p> <p>【実施内容】 対象)生後4か月までの産婦と新生児 利用回数)一人3回まで 実施者)委託契約した助産師(訪問型) 利用料)1回1,000円(生保、非課税世帯は0円) 委託料)1回6,000円 ※事前申請により利用</p> <p>【進捗状況】 平成30年6月から事業開始し、現在2人の利用申請があり、委託助産師と訪問日の調整中である。</p>	<p>産後うつなど、支援が必要な産婦への心身のケアや育児のサポートを行う業務を、助産師に委託する</p> <p>(単位 委託した助産師数)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	2			<p>産後うつなど、支援が必要な産婦が、心身のケアや育児のサポートを受ける</p> <p>(単位 実施延回数)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			<p>産後うつ症状が改善されるなど、産婦が安心して健やかに産後の生活が送れるようになる</p>		<p>【目標指標】</p> <p>A 待機児童数 (1月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(単位 人)</p> <p>B まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(単位 %)</p> <p>C まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(単位 %)</p>	H30	H31	H32	—			H30	H31	H32	—			H30	H31	H32	—		
H30	H31	H32																																	
2																																			
H30	H31	H32																																	
未																																			
H30	H31	H32																																	
—																																			
H30	H31	H32																																	
—																																			
H30	H31	H32																																	
—																																			
<p>⑲ 子育て応援プラザ運営事業</p> <p>【事業概要】 「子ども」をキーワードに市民、地域活動団体、市民活動団体及び企業等が連携、交流できる場として、子育て応援プラザを公民の連携により運営する。</p> <p>【H30事業費】 26,822千円 【H31事業費】 【H32事業費】</p> <p>【担当課】 子ども青少年課</p> <p>【実施内容】 室内遊び場、リラックスルーム、セミナールーム、託児機能付きのオフィスなどを備えた子育て応援プラザを、公民の連携により運営する。</p> <p>【進捗状況】 室内遊び場、リラックスルーム、セミナールーム、託児機能付きのオフィスなどを備えた子育て応援プラザを、公民の連携により運営している。</p>	<p>子育て応援プラザを運営する</p> <p>(単位 千円)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>12,808</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	12,808			<p>子育て中の親子が子育て応援プラザを利用する</p> <p>(単位 利用者数)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>2,247</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	2,247			<p>子育て中の親の気分転換が図られる</p> <p>子育て中の親同士の子育てに関する悩みや不安などについての情報交換が図られる</p>																				
H30	H31	H32																																	
12,808																																			
H30	H31	H32																																	
2,247																																			
<p>⑳ 子ども未来基金事業</p> <p>【事業概要】 市の積立金及び市民等からの寄附金を財源として、子育て支援団体や企業が行う子ども・子育て支援に資する活動、子育てサークル等への活動に要する費用の助成を行う。</p> <p>【H30事業費】 40,127千円 【H31事業費】 【H32事業費】</p> <p>【担当課】 子ども青少年課</p> <p>【実施内容】 ・個人及び企業に対し、寄附の呼びかけを行う。 ・企画提案方式により、市民・団体等が行う子ども・子育て支援の活動の費用を助成する。</p> <p>【進捗状況】 ・個人及び企業に対し、寄附の呼びかけを行っている。 ・企画提案方式により、市民・団体等が行う子ども・子育て支援の活動の費用を助成した。</p>	<p>個人・企業等に対して、寄附の呼びかけを行う</p> <p>(単位 千円)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>1,500</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	1,500			<p>個人企業等が、子ども未来基金に対して寄附を行う</p> <p>(単位 千円)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>1,500</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	1,500			<p>民間による子ども・子育て支援の活動が活発になる</p>	<p>社会全体で子ども・子育てを支援する機運が高まる</p>																			
H30	H31	H32																																	
1,500																																			
H30	H31	H32																																	
1,500																																			
<p>㉑ ワーク・ライフ・バランス推進事業</p> <p>【事業概要】 子育て・介護・地域福祉における課題(時間の確保)の解決に資するため、民間企業等における自発的なワーク・ライフ・バランスの推進を促すことで、男女ともに働きやすい環境の整備を促進する。</p> <p>【H30事業費】 9,390千円 【H31事業費】 【H32事業費】</p> <p>【担当課】 子ども青少年課</p> <p>【実施内容】 ワーク・ライフ・バランスを推進するリーディング企業を育成するとともに、当該企業を中心とした市内企業のネットワークづくりを支援する、いわて働き方アワードと連携した表彰制度を実施する。</p> <p>【進捗状況】 ワーク・ライフ・バランスを推進するモデル企業として公募により2社を選定し、コンサルティングを実施中である。</p>	<p>モデル企業に選定された企業にコンサルティングを行う。</p> <p>(単位 コンサルティング企業数)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	2			<p>参加するモデル企業が培ったノウハウ等を他の企業へ広めるための勉強会等を行う</p> <p>(単位 開催回数)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			<p>民間企業等において、ワーク・ライフ・バランスを推進するための知識やスキルを身に付けた人材が増加し、推進する企業等が増加する</p> <p>(単位 企業等数)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			<p>子育て世帯等にとって働きやすい環境が整備される</p>													
H30	H31	H32																																	
2																																			
H30	H31	H32																																	
未																																			
H30	H31	H32																																	
未																																			
<p>㉒ 子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業</p> <p>【事業概要】 既存の住宅等を改修し、子育て世帯専用の賃貸住宅とする民間事業者等に対して、改修費用の一部を補助する。</p> <p>【H30事業費】 3,000千円 【H31事業費】 【H32事業費】</p> <p>【担当課】 建築住宅課</p> <p>【実施内容】 住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修費補助を1件当たり1,000千円を上限とし実施する。</p> <p>【進捗状況】 改修費補助要領作成中。</p>	<p>空き家を子育て世帯専用の賃貸住宅に改修した物件所有者等に対し、経費の一部を補助する</p> <p>(単位 千円)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			<p>物件所有者等が、子育て世帯専用の賃貸住宅に改修する</p> <p>(単位 改修した世帯数)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			<p>子育て世帯が低廉な賃貸住宅に入居し、空き家が減る</p> <p>(単位 入居世帯数)</p> <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			<p>子育て世帯の住環境が整備される</p>													
H30	H31	H32																																	
未																																			
H30	H31	H32																																	
未																																			
H30	H31	H32																																	
未																																			

【戦略プロジェクト評価(平成30年度)】

戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	2020あつまる・つながるまちプロジェクト
期待する効果	観光やスポーツを通して国内外から多くの人が訪れ、また訪れたいまちになる
重点取組期間	平成30～32年度
主管部等名	市民部 ・ 商工観光部
戦略プロジェクト統括マネージャー	伊瀬谷渉 市民部長 ・ 沼田秀彦 商工観光部長

戦略プロジェクトに取り組み背景	戦略プロジェクトの取組の内容
まちの活力を維持していくため、定住人口の維持を図るとともに、恵まれた食や観光資源など、本市の魅力を生かした誘客の促進や若者の活躍の場の創出、スポーツを新たな機軸とするインバウンド獲得など、交流人口の増加を図り、まちに賑わいを生み出していくことが本市の重要課題となっている。	本市を訪れる旅行者が満足し、選ばれる観光地域となるため、歴史や自然、文化などの恵まれた観光資源を生かし、ブラッシュアップするとともに、国内外からの観光客受入態勢の整備を進めるほか、様々な媒体を通じ、本市の魅力積極的にプロモーションする。 また、2019年ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピックの機運を高め、ホストタウン事業などに取り組むとともに、MICE(マイス)の誘致や盛岡ファンづくりを推進するなど、交流人口を増やし、魅力があふれるまちづくりを推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
国内外の人	盛岡に来てもらう(交流人口を増やす)。
市民	盛岡に愛着を持ってもらう。

目標指標の状況・評価(平成30年7月時点)

実績値の推移		実績の評価		評価を踏まえた今後の取組
指標① 観光客入込数		「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点		
当初値(H25)	472	H32目標値	504	<p>☆1 MICE(マイス)のプロモーションについては、継続して(公財)盛岡観光コンベンション協会等関係団体、民間事業者と連携した誘致宣伝活動に取り組み、全国に向けて周知を図る。</p> <p>☆2 東北六市連携によるプロモーションについては、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機とした一層の誘客拡大を目指し、各市の夏祭りを軸としながら、東北の自然や文化、食の魅力などをテーマに広域観光ルートの提案を行い、周遊型・滞在型観光を促進していく。</p> <p>☆3 広域12市町の枠組みによる盛岡・八幡平広域観光推進協議会の活動等を通じ、圏域の周遊型・滞在型観光を促進していく。併せて市内観光資源のブラッシュアップを図り、盛岡の旬な観光情報や観光客向けの地域行事、周遊コースを積極的に発信していく。</p> <p>☆4 いしがきミュージックフェスティバル実行委員会が実施主体であるが、全国の幅広い世代に來盛してもらうきっかけを作る絶好の機会と捉え、負担金による支援を継続すると共に、盛岡市で開催される大きなイベントとして様々な機会に情報発信に努める。</p>
目指す方向	↗	<p>・東北絆まつりなどの大規模イベントの開催や周遊型・滞在型観光の推進による交流人口の拡大</p> <p>・制度開始から3年目となるMICE(マイス)開催助成制度については、7月時点で20件の申請があった。</p> <p>・いしがきミュージックフェスティバルは、昨年は台風の影響もありながらも、来場者は前年より増加しており、また、県外からの来場者の割合も徐々に増えている。</p>	<p>特に寄与している点の要因分析</p> <p>・東北六魂祭から東北絆まつりへと続く東北六市の連携強化やプロモーション活動が、東北の認知度向上や目的地としての選択につながっている。</p> <p>・MICE(マイス)開催助成制度については、申請予定者や催事の情報収集に努め、関係団体や民間事業者と連携したプロモーション活動により、コンベンションの実施につながった。</p> <p>・いしがきミュージックフェスティバルは、天候に左右されるリスクはあるが、アクセス性に優れた街中での開催という特色があり、確実に来場者数が伸びている。</p>	
<p>※平成25年度の実績値を基準に目標値を設定している</p>		<p>「指標の目指す方向」に向けた問題点</p> <p>・交流人口の拡大に対し、宿泊客数が伸びていない。</p> <p>・MICE(マイス)開催助成制度が十分に認知されておらず、申請件数が安定していない。</p> <p>・いしがきミュージックフェスティバルは、近隣他市はもちろん、他県からも参加者が来場するイベントではあるが、資金確保の面からも入込数の更なる拡大が重要である。</p>		<p>問題点の要因分析</p> <p>・全国に比して東北エリアでは観光目的の宿泊客数が低調に推移しており、東北全体の底上げが必要なことから、引き続き広域の連携によるプロモーションを展開していく。</p> <p>・MICE(マイス)開催助成制度が東北の県庁所在地で最も遅く(平成27年4月)、コンベンションシティとしての情報発信が不足している。</p> <p>・いしがきミュージックフェスティバルは、実行委員会による、イベント開催前のホームページ開設等のPR活動に取り組んでいるが、資金的な課題等もあり、情報発信に不足がある。</p>
指標② 外国人観光客入込(宿泊客)数		「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点		<p>☆1 ターゲット国を台湾及び近年訪問者数の増加が顕著なタイに設定し、広域連携による観光プロモーションを強化する。</p> <p>☆2 台湾をはじめとする外国人観光客のリピーターを獲得する取組を研究する。</p> <p>☆3 ホームページの多言語化やWi-Fi環境整備など、外国人観光客受入環境の整備を推進する。</p>
当初値(H27)	13,599	H32目標値	40,000	
目指す方向	↗	<p>・訪日外国人観光客の増加に伴い、盛岡への入込数も増加している。</p>	<p>特に寄与している点の要因分析</p> <p>・盛岡広域圏や東北六市の連携の強化及び海外プロモーション展開により「東北・岩手・盛岡」の認知度が向上してきている。</p> <p>・いわて花巻空港への定期チャーター便(台湾)の航行</p>	
		<p>「指標の目指す方向」に向けた問題点</p> <p>・国の施策等により全国的に外国人観光客は増加傾向にあるものの、東日本大震災前と比較した増加率では、全国の地方ブロックの中で東北が最も低い。</p> <p>・外国人宿泊客数の国・地域別の内訳をみると、東北と岩手県、盛岡市は台湾の割合が全国値を大きく上回っており、台湾への依存度が高い。</p>		<p>問題点の要因分析</p> <p>・県との連携や盛岡広域で取組を進めてきた積極的な台湾プロモーションによる成果。</p> <p>・台湾に続く有力なマーケットとなり得る国・地域に向けたプロモーション活動が進展途上にあること。</p>
指標③ 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」		「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点		<p>☆1 舟運事業について、社会実験により得られた情報を基に舟運計画を策定し、関係組織団体の相互協力により必要な施設と運営組織を整備する。安定した運航環境を確保した上で、継続的にフェスタを実施し、舟運の認知度を上げる。</p> <p>☆2 盛岡ブランドのイメージを分かりやすく伝える機会を増やす。</p> <p>☆3 市民や事業者が盛岡ブランドに持続的に関わることができる仕掛け作りを進めるとともに、市外において盛岡ブランドを主に訴求する相手方(ターゲット)の設定を行う。</p> <p>☆4 新たな情報発信の手法の試行や検証を通じて、市外において盛岡と関わりがある人と連携するための効果的な情報発信の手法を確立する。</p> <p>☆5 東京圏の盛岡出身など縁のある方を対象にしぼり、関係人口の創出の機会を増やす。</p> <p>☆6 現行の盛岡ブランド推進計画が31年度までとなっていることから、今後の方向性について検討する。</p>
当初値(H27)	63	H32目標値	50	
目指す方向	↗	<p>・地域ブランド調査において、調査項目となっている魅力度と相関関係の強い、情報接触度や、観光意欲度の増加が、順位向上に寄与したものと考えられる。</p> <p>・若い世代(小学生)をターゲットに盛岡ブランドの普及啓発を行い、シビックプライドを育てることができた。</p> <p>・新たな観光資源として、舟運に関するフェスタ・講演会等の実施に向け、周知効果が期待できるイベントに併せ社会実験を実施した。マスコミにも取り上げられており、取組の認知度が着実に広がってきている。</p>	<p>特に寄与している点の要因分析</p> <p>・情報接触度の指標である「「旅系」や「ロコミ系」の情報の接触」や、観光意欲度の指標である「観光などで盛岡を訪れる機会」の数値が向上しており、順位向上に寄与したものと考えられる。</p> <p>・シビックプライドの形成には、若いときの啓発が有効と考えられることから、学年単位で授業として学ぶことにより、盛岡について自発的に考える力を養うことができた。</p> <p>・舟運事業について、主体的に取り組んでいる地元団体に、国、県の関係機関も加わった実行委員会の設置により、導入実現に向けた組織強化が図られたため。</p>	
		<p>「指標の目指す方向」に向けた問題点</p> <p>・盛岡ブランドのブランドイメージに関する市民・事業者の意識共有までには至っていない。</p> <p>・市外在住者への広告宣伝の媒体や手法が限られており、効果的に訴求する広告宣伝が実施できていない。</p> <p>・盛岡からの転出者や盛岡デーへの来訪者など、市外在住者のうち東京盛岡ふるさと会以外で盛岡と関わりがある人との連携が進んでいない。</p> <p>・舟運事業について、社会実験から得られた水深不足などの情報を基に、運航の安定性を確保できるよう課題解決に向けハード、ソフトの整備が必要。</p>		<p>問題点の要因分析</p> <p>・盛岡ブランド推進計画は、盛岡が持つ多くの価値や魅力を集約した形となっていることから、市民や事業者が盛岡ブランドのイメージをつかみづらくなっている。</p> <p>・広告宣伝や周知イベント等の実施時期が限られているなど、市民や事業者が盛岡ブランドに持続的に関わりを持つことが難しい状況である。</p> <p>・市外において盛岡と関わりがある人と連携するための情報発信手法を確立できていない。</p> <p>・舟運事業について、安全に運航できるよう河川環境を含む関連施設の整備と継続的に運航運営できる事業者の確保が重要となる。</p>

(余白)

※H30年度の数値は、評価時点の数値。

事業名 事業概要等	活動	結果	目指す成果	戦略プロジェクト																																				
①地域おこし協力隊活用事業(スポーツを通じた盛岡広域の魅力発信) 【事業概要】 「地域おこし協力隊」により、スポーツを通じた盛岡広域の魅力効果的にPRするため、情報発信力を強化し、盛岡広域地域のスポーツツーリズムを推進する。 【H30事業費】 3,938千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 スポーツツーリズム推進室 【実施内容】 ・盛岡広域スポーツイベント等の取材 ・盛岡広域スポーツイベント等の情報発信 【進捗状況】 H30.9.1より、地域おこし協力隊を1名任用する予定である。	盛岡広域の魅力を国内外に発信するため、地域おこし協力隊を任用する (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			地域おこし協力隊員が、盛岡広域スポーツミッションと連携しながら、盛岡広域の魅力の起りこしを行い、HPやSNSを通じて国内外に発信する。 (単位 発信件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			HPやSNSにより、スポーツを通じて、盛岡広域に関心をもつ人が増える。 (単位 HPアクセス数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			【期待する効果】 観光やスポーツを通して国内外から多くの人が訪れ、また訪れたいまちになる 【対象】 ・国内外の人 ・市民 【意図】 ・盛岡に来てもらう(交流人口を増やす) ・盛岡に愛着を持ってもらう 【目標指標】 A 観光客入込数 (単位 万人回) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> B 外国人観光客入込(宿泊客)数 (単位 人回) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> C 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」 (単位 位) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	—			H30	H31	H32	—			H30	H31	H32	—		
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
—																																								
H30	H31	H32																																						
—																																								
H30	H31	H32																																						
—																																								
②盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業 【事業概要】 カナダを相手国とするホストタウン事業として、水球の事前キャンプを受け入れるとともに、ラグビーの事前キャンプ受け入れ準備を進めるほか、スポーツライミングをはじめ他の競技の誘致に取り組む。また、盛岡広域スポーツミッションによるスポーツを通じた交流人口の拡大などに取り組む。 【H30事業費】 24,475千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 スポーツツーリズム推進室 【実施内容】 ・事前キャンプの受け入れ ・競技団体の視察受け入れ 【進捗状況】 カナダを相手国とするホストタウンとして、H30.6に水球カナダ(女子)の受け入れを行ったほか、H30.8は同(男子)の受け入れを予定している。また、H30.7には、バスケットカナダの視察受け入れを予定している。RWC2019公認チームキャンプ地は、アフリカ地区代表の受け入れが決定しているが、H30.7現在、相手国が未定である。(H30.8頃決定見込)	盛岡広域が連携して、合宿や大会の誘致活動を行う (単位 対象団体数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			盛岡における合宿や大会の誘致件数(規模)が増える。 (単位 誘致件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			誘致した合宿や大会に選手・関係者や観客が訪れる (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			スポーツに関連し、盛岡を訪れる人が増加する (単位:人) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>1,238</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	1,238														
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
1,238																																								
ホストタウンとして、視察受け入れなどの事前キャンプ誘致活動を行う (単位 視察受入回数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	1			カナダ競技団体が事前キャンプを実施する (単位 実施回数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	1			カナダ競技団体の事前キャンプに選手・関係者や観客が訪れる (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>1,238</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	1,238																						
H30	H31	H32																																						
1																																								
H30	H31	H32																																						
1																																								
H30	H31	H32																																						
1,238																																								
RWC2019公認チームキャンプ地として、地域交流計画を策定し、交流事業を実施する (単位 実施事業数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			交流事業に市民が参加する (単位 参加者数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			公認チームキャンプ地としての機運が醸成され、関係国との関係が深まる (単位 関係国との関係が深まる回数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			関係国との交流が盛んになる (単位 関係国との交流が盛んになる回数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未															
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
③姉妹都市等国際交流事業(ホストタウン機運醸成事業) 【事業概要】 カナダを相手国とするホストタウン交流について市民の理解や関心を深めるため、姉妹都市のビクトリア市を含めたカナダを紹介するイベント等を開催し、機運醸成及び市民の国際感覚の醸成を図る。 【H30事業費】 1,260千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 文化国際室 【実施内容】 ・パラリンピアンによる講演会の開催にあわせカナダの基本情報を紹介する。 ・小学校を対象とした出前講座の開催 【進捗状況】 ・8月11日開催のパラリンピアンによる講演会の準備を進めている。 ・小学校向け出前講座の実施希望校を再募集している。	ホストタウン事業に関する出前講座や周知イベント等を実施する (単位 実施回数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			ホストタウン事業に関する出前講座や周知イベント等に市民が参加する (単位 参加者数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			ホストタウンの機運が醸成され、カナダとの関係が深まる (単位 関係が深まる回数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			カナダとの交流が盛んになる (単位 カナダとの交流が盛んになる回数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未														
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
④MICE(マイス)誘致推進事業 【事業概要】 市内を主会場とする一定規模以上の国際会議や全国規模のコンベンションなどに対して、開催費用の一部を助成する。 【H30事業費】 25,000千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 観光交流課 【実施内容】 MICEに係る補助金の支出 【進捗状況】 平成30年度補助金25,000千円のうち、一部7,100千円を前金払いで支出済である。	(公財)盛岡観光コンベンション協会に補助金を支出する (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>7,100</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	7,100			(公財)盛岡観光コンベンション協会がMICE(マイス)助成の募集を行い、申請を受ける (単位 申請件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	22			採択されたMICE開催者が、MICE(マイス)を開催する (単位 開催件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	6			(公財)盛岡観光コンベンション協会が、採択されたMICE(マイス)開催者に対して助成する (単位 助成件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	2			MICE(マイス)に関連し、盛岡を訪れる人が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未							
H30	H31	H32																																						
7,100																																								
H30	H31	H32																																						
22																																								
H30	H31	H32																																						
6																																								
H30	H31	H32																																						
2																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
⑤広域観光推進事業(外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業) 【事業概要】 台湾やタイへの積極的なプロモーションとして、旅行商品の開発や現地での宣伝活動のほか、ホームページやSNSを活用した情報発信などを行い、外国人観光客の誘客促進による交流人口の増加を図る。 【H30事業費】 3,082千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 観光交流課 【実施内容】 ・外国人観光客誘致に向けた受入態勢の整備 ・情報発信の強化 【進捗状況】 台湾及びタイからの誘客を促進するため、現地で開催されるプロモーションに参画した。 ・台中国際旅行展(平成30年5月) ・タイ国際旅行フェア(平成31年2月予定)	外国人観光客受入のための環境整備を実施する委託料等を支出する (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			業者等が外国人観光客受入のための環境整備を行う (単位 件数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			外国人観光客の受け入れ態勢が改善される (単位 改善される外国人観光客の人数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			外国人観光客が快適に過ごせるようになる (単位 外国人観光客が快適に過ごせる回数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			外国人観光客入込(宿泊客)数が増加する (単位 人回) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未							
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
台湾国際旅行展・タイ国際旅行フェアに参加する (単位 箇所) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	1			台湾国際旅行展・タイ国際旅行フェアで盛岡のプロモーションを行う (単位 回) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	1			外国人が台湾国際旅行展・タイ国際旅行フェアで盛岡のプロモーションを受ける (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>1,000</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	1,000																						
H30	H31	H32																																						
1																																								
H30	H31	H32																																						
1																																								
H30	H31	H32																																						
1,000																																								
⑥盛岡デー等観光PR事業(東北六都市連携による誘客プロモーション事業) 【事業概要】 東北六魂祭で培った、東北の県庁所在地6市の連携を活用し、東北全体の観光振興を推進するため、2020年東京オリンピック・パラリンピックを視野に、首都圏等におけるプロモーション活動を積極的に展開する。 【H30事業費】 2,091千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 観光交流課 【実施内容】 東北県庁所在地6都市の連携により、6市祭りの派遣披露を軸とした観光プロモーションの展開 【進捗状況】 6市、6祭り団体、6商工会議所の連携の下、事業実施の準備を進めている。	各種プロモーションに応じて費用を負担する (単位 千円) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			6市が連携して首都圏等でプロモーションを行う (単位 回) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			外国人が首都圏等で盛岡のプロモーションを受ける (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			盛岡に魅力を感じる外国人が増加する (単位 外国人が増加する人数) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			交流人口が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H30</th><th>H31</th><th>H32</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未							
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								
H30	H31	H32																																						
未																																								

事業名 事業概要等	活動	結果	目指す成果	戦略プロジェクト																																																						
⑦盛岡デー等観光PR事業(盛岡市の物産と観光展開催事業) 【事業概要】 首都圏及び北海道からの観光客誘致に向け、熊谷市や札幌市、柏市などで開催を予定している物産と観光物産展に係る負担金を支出する。 【H30事業費】 3,600千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 観光交流課 【実施内容】 盛岡市の物産と観光展実行委員会に対する負担金の支出 【進捗状況】 北海道札幌市、埼玉県熊谷市、千葉県柏市での物産展開催を予定し、準備を進めている。	<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡市の物産と観光展実行委員会に負担金を支出する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 千円)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>3,600</td><td></td><td></td></tr> </table>	盛岡市の物産と観光展実行委員会に負担金を支出する			(単位 千円)			H30	H31	H32	3,600			<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡市の物産と観光展実行委員会が札幌市、熊谷市、柏市で物産展を開催する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 日)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	盛岡市の物産と観光展実行委員会が札幌市、熊谷市、柏市で物産展を開催する			(単位 日)			H30	H31	H32	未			<table border="1"> <tr><td colspan="3">物産展に来客がある</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 人)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	物産展に来客がある			(単位 人)			H30	H31	H32	未			【期待する効果】 観光やスポーツを通して国内外から多くの人が訪れ、また訪れたいまちになる 【対象】 ・ 国内外の人 ・ 市民 【意図】 ・ 盛岡に来てもらう(交流人口を増やす) ・ 盛岡に愛着を持ってもらう 【目標指標】 A 観光客入込数 (単位 万人回) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> B 外国人観光客入込(宿泊客)数 (単位 人回) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> C 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」 (単位 位) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	—			H30	H31	H32	—			H30	H31	H32	—		
盛岡市の物産と観光展実行委員会に負担金を支出する																																																										
(単位 千円)																																																										
H30	H31	H32																																																								
3,600																																																										
盛岡市の物産と観光展実行委員会が札幌市、熊谷市、柏市で物産展を開催する																																																										
(単位 日)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
物産展に来客がある																																																										
(単位 人)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
H30	H31	H32																																																								
—																																																										
H30	H31	H32																																																								
—																																																										
H30	H31	H32																																																								
—																																																										
⑧盛岡デー等観光PR事業(盛岡デー開催事業) 【事業概要】 観光PRと魅力発信の場として、東京と沖縄県うるま市で継続開催を予定している盛岡デー開催に係る負担金を支出する。 【H30事業費】 2,900千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 観光交流課 【実施内容】 盛岡デー実行委員会に対する負担金の支出 【進捗状況】 観光PRと盛岡の魅力発信の場として、盛岡デーイン東京を開催した。 ・盛岡デーイン東京(平成30年7月5日～8日) ・盛岡デーイン沖縄(平成30年11月予定)	<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡デー実行委員会に負担金を支出する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 千円)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>2,900</td><td></td><td></td></tr> </table>	盛岡デー実行委員会に負担金を支出する			(単位 千円)			H30	H31	H32	2,900			<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡デー実行委員会が東京うるま市で盛岡デーを開催する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 回)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	盛岡デー実行委員会が東京うるま市で盛岡デーを開催する			(単位 回)			H30	H31	H32	1			<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡デーに来客がある</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 人)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	盛岡デーに来客がある			(単位 人)			H30	H31	H32	未																					
盛岡デー実行委員会に負担金を支出する																																																										
(単位 千円)																																																										
H30	H31	H32																																																								
2,900																																																										
盛岡デー実行委員会が東京うるま市で盛岡デーを開催する																																																										
(単位 回)																																																										
H30	H31	H32																																																								
1																																																										
盛岡デーに来客がある																																																										
(単位 人)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
⑨盛岡デー等観光PR事業(東北絆まつり開催事業) 【事業概要】 「東北絆まつり」を平成30年に盛岡で開催する。東北絆まつりの盛岡開催に当たっては、岩手県内の祭りや郷土芸能、食の魅力などを集結したオール岩手の取組とする。 【H30事業費】 199,350千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 観光交流課 【実施内容】 ・東北絆まつり2018盛岡の開催 【進捗状況】 平成30年6月2日(土)、3日(日)に東北絆まつりを開催した。オール岩手の取組として、郷土芸能ステージ(26団体)披露や、観光物産PRブース(32市町村)の出展などを実施した。期間中の人出は33万3千人(2日間)	<table border="1"> <tr><td colspan="3">東北絆まつり実行委員会に負担金を支出する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 千円)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>148,700</td><td></td><td></td></tr> </table>	東北絆まつり実行委員会に負担金を支出する			(単位 千円)			H30	H31	H32	148,700			<table border="1"> <tr><td colspan="3">東北絆まつり実行委員会が東北絆まつりを開催する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 件)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	東北絆まつり実行委員会が東北絆まつりを開催する			(単位 件)			H30	H31	H32	1			<table border="1"> <tr><td colspan="3">東北絆まつりに来客がある</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 万人)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>33</td><td></td><td></td></tr> </table>	東北絆まつりに来客がある			(単位 万人)			H30	H31	H32	33																					
東北絆まつり実行委員会に負担金を支出する																																																										
(単位 千円)																																																										
H30	H31	H32																																																								
148,700																																																										
東北絆まつり実行委員会が東北絆まつりを開催する																																																										
(単位 件)																																																										
H30	H31	H32																																																								
1																																																										
東北絆まつりに来客がある																																																										
(単位 万人)																																																										
H30	H31	H32																																																								
33																																																										
⑩いしがきミュージックフェスティバル支援事業 【事業概要】 盛岡城跡公園を主会場として開催する「いしがきミュージックフェスティバル実行委員会」に負担金を支出し、イベントを通じ盛岡の魅力を発信するとともに、交流人口の増加と若者の活躍、被災地の復興を応援する。 【H30事業費】 4,000千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 公園みどり課 【実施内容】 いしがきミュージックフェスティバルの開催に係る負担金の支出 【進捗状況】 いしがきミュージックフェスティバルの開催(9月24日)に向けた準備支援	<table border="1"> <tr><td colspan="3">「いしがきミュージックフェスティバル実行委員会」に対し、開催負担金を支出する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 千円)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	「いしがきミュージックフェスティバル実行委員会」に対し、開催負担金を支出する			(単位 千円)			H30	H31	H32	未			<table border="1"> <tr><td colspan="3">「いしがきミュージックフェスティバル実行委員会」がいしがきミュージックフェスティバルを開催する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 件)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	「いしがきミュージックフェスティバル実行委員会」がいしがきミュージックフェスティバルを開催する			(単位 件)			H30	H31	H32	未			<table border="1"> <tr><td colspan="3">いしがきミュージックフェスティバルに来客がある</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 万人)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	いしがきミュージックフェスティバルに来客がある			(単位 万人)			H30	H31	H32	未																					
「いしがきミュージックフェスティバル実行委員会」に対し、開催負担金を支出する																																																										
(単位 千円)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
「いしがきミュージックフェスティバル実行委員会」がいしがきミュージックフェスティバルを開催する																																																										
(単位 件)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
いしがきミュージックフェスティバルに来客がある																																																										
(単位 万人)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
⑪盛岡三大麺普及事業 【事業概要】 盛岡の三大麺である「わんこそば」、「盛岡冷麺」、「盛岡じゃじゃ麺」の普及を推進するため、全日本わんこそば選手権に係る開催負担金や、盛岡三大麺普及協議会への負担金を支出する。 【H30事業費】 295千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 経済企画課 【実施内容】 ・全日本わんこそば選手権に係る開催負担金の支出 ・盛岡三大麺普及協議会への負担金の支出 【進捗状況】 ・盛岡三大麺普及協議会では今年度の事業実施の準備を進めており、今後負担金を支出予定。	<table border="1"> <tr><td colspan="3">「盛岡三大麺普及協議会」に対し、事業費に係る負担金を支出する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 千円)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	「盛岡三大麺普及協議会」に対し、事業費に係る負担金を支出する			(単位 千円)			H30	H31	H32	未			<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡三大麺普及協議会が全日本わんこそば選手権を開催する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 回)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	盛岡三大麺普及協議会が全日本わんこそば選手権を開催する			(単位 回)			H30	H31	H32	未			<table border="1"> <tr><td colspan="3">全日本わんこそば選手権に来客がある</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 人)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	全日本わんこそば選手権に来客がある			(単位 人)			H30	H31	H32	未																					
「盛岡三大麺普及協議会」に対し、事業費に係る負担金を支出する																																																										
(単位 千円)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
盛岡三大麺普及協議会が全日本わんこそば選手権を開催する																																																										
(単位 回)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
全日本わんこそば選手権に来客がある																																																										
(単位 人)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
		<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡三大麺普及協議会が盛岡三大麺に関する広報紙の作成やHP等を活用した情報発信を行う</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 件)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	盛岡三大麺普及協議会が盛岡三大麺に関する広報紙の作成やHP等を活用した情報発信を行う			(単位 件)			H30	H31	H32	未			<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡三大麺の認知度が向上する</td></tr> </table>	盛岡三大麺の認知度が向上する																																										
盛岡三大麺普及協議会が盛岡三大麺に関する広報紙の作成やHP等を活用した情報発信を行う																																																										
(単位 件)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
盛岡三大麺の認知度が向上する																																																										
⑫盛岡ブランド確立事業 【事業概要】 盛岡ブランドフォーラムの開催や広告宣伝業務等を通じて、市民の盛岡に対する誇りや愛着を醸成するとともに、盛岡の価値や魅力を積極的に市内外に発信し、盛岡ブランドの市内外への一層の浸透を図る。 【H30事業費】 3,387千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 都市戦略室 【実施内容】 ・盛岡ブランド広告宣伝 ・盛岡ブランド推進に係る各種会議の開催 ・盛岡ブランドフォーラムの開催(共催) ・盛岡ブランド推進計画の進捗管理 ・盛岡ブランド市民推進委員会の運営支援 【進捗状況】 ・盛岡ブランド広告宣伝として、2事業者に対し、シティブロモーション素材作成委託契約を行った。 ・盛岡ブランドフォーラムを11月10日(土)に開催予定。	<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡ブランドフォーラムを開催する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 回)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	盛岡ブランドフォーラムを開催する			(単位 回)			H30	H31	H32	未			<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡ブランドフォーラムに市民等が参加する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 人)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	盛岡ブランドフォーラムに市民等が参加する			(単位 人)			H30	H31	H32	未			<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡ブランドの認知度が向上する</td></tr> </table>	盛岡ブランドの認知度が向上する																														
盛岡ブランドフォーラムを開催する																																																										
(単位 回)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
盛岡ブランドフォーラムに市民等が参加する																																																										
(単位 人)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
盛岡ブランドの認知度が向上する																																																										
	<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡ブランドの広告宣伝を業務委託により実施し、委託料を支出する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 千円)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>1,860</td><td></td><td></td></tr> </table>	盛岡ブランドの広告宣伝を業務委託により実施し、委託料を支出する			(単位 千円)			H30	H31	H32	1,860			<table border="1"> <tr><td colspan="3">受託業者が盛岡ブランドの広告・宣伝を実施する</td></tr> <tr><td colspan="3">(単位 件)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	受託業者が盛岡ブランドの広告・宣伝を実施する			(単位 件)			H30	H31	H32	未			<table border="1"> <tr><td colspan="3">盛岡ブランドの認知度が向上する</td></tr> </table>	盛岡ブランドの認知度が向上する																														
盛岡ブランドの広告宣伝を業務委託により実施し、委託料を支出する																																																										
(単位 千円)																																																										
H30	H31	H32																																																								
1,860																																																										
受託業者が盛岡ブランドの広告・宣伝を実施する																																																										
(単位 件)																																																										
H30	H31	H32																																																								
未																																																										
盛岡ブランドの認知度が向上する																																																										

事業名 事業概要等	活動 …… 結果 ……			目指す成果			戦略プロジェクト																																										
⑬地域おこし協力隊活用事業(盛岡の魅力PR) 【事業概要】 市外在住者の視点から、盛岡の魅力を描き直し、盛岡の魅力を効果的に市外に訴求するため、「地域おこし協力隊」による盛岡に関する情報発信や素材(コンテンツ)の制作に取り組む。 【H30事業費】 8,000千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 都市戦略室 【実施内容】 地域おこし協力隊による盛岡に関する情報発信や素材(コンテンツ)制作 【進捗状況】 昨年度に引き続き、首都圏在住の若者世代(20代、30代)をメインターゲットに盛岡の魅力をSNS等を活用してPRを行っている。	盛岡の魅力を発信するため、地域おこし協力隊を任用する (単位 人) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	2			地域おこし協力隊が市外在住者をメインターゲットとした、盛岡に関する情報発信や素材(コンテンツ)制作を行う (単位 件) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	13			市外在住者に、盛岡の魅力が伝わる	盛岡の魅力が認識される	地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」が上昇する (単位:順位) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			盛岡が選ばれたまちになる	【期待する効果】 観光やスポーツを通して国内外から多くの人が訪れ、また訪れたいまちになる 【対象】 ・ 国内外の人 ・ 市民 【意図】 ・ 盛岡に来てもらう(交流人口を増やす) ・ 盛岡に愛着を持ってもらう																								
H30	H31	H32																																															
2																																																	
H30	H31	H32																																															
13																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
⑭地場・伝統産業振興事業(特産品ブランド振興事業) 【事業概要】 盛岡の特色豊かな工芸品や食品、農産物等を広く全国にアピールするため、新たな盛岡ブランド品認定制度により、販売促進、販路拡大を図る。 【H30事業費】 194千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 ものづくり推進課 【実施内容】 ・盛岡ブランド品認定会議を開催 ・盛岡ブランド品プレミアム品の認定 ・盛岡ブランド品プレミアム品のプロモーション 【進捗状況】 盛岡ブランド品認定制度懇話会を2回開催し、要綱案を固めた。	盛岡ブランド品認定会議を開催する (単位 開催回数) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			盛岡ブランド品が認定される (単位 品目) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table> 盛岡プレミアムブランド品が認定される。 (単位 品目) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			H30	H31	H32	未			盛岡の特産品の認知度が向上し、売上が増加する (単位 千円) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未						【目標指標】 A 観光客入込数 (単位 万人回) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> B 外国人観光客入込(宿泊客)数 (単位 人回) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> C 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」 (単位 位) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	—			H30	H31	H32	—			H30	H31	H32	—		
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
—																																																	
H30	H31	H32																																															
—																																																	
H30	H31	H32																																															
—																																																	
⑮盛岡地区かわまちづくり事業 【事業概要】 川を活用した新たな観光資源や水辺の賑わいの創出に向け、国・市・市民・民間事業者が一体となった取組を推進するため、舟運事業の実現を目指した検討を行います。 【H30事業費】 3,782千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【事業担当課】 公園みどり課 【実施内容】 ・試作舟による社会実験への支援 ・舟運導入可能性調査の実施 ・木伏緑地トイレ耐荷重検討 【進捗状況】 実行委員会の設置(5月24日) 社会実験実施(6月2～3日、6月16日) 社会実験(8月4日)準備 舟運計画の策定(年度末)	試作舟による社会実験を行う (単位 回) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	2			社会実験に市民が参加する (単位 人) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	30			「川のまちもりおか」の市民の認識が高まる	舟運導入可能性調査を行う (単位 件) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			舟運導入に向けた具体的な検討が進む (単位 件) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			舟運事業の実施に向けた機運が高まる																			
H30	H31	H32																																															
2																																																	
H30	H31	H32																																															
30																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
⑯移住・定住・交流人口対策事業 【事業概要】 若者の地元定着やUターンなどの移住・定住を促進し、人口を維持する取組として、若者の愛郷心の醸成や、首都圏等の盛岡コミュニティへの支援、「仕事」と「暮らし」の一体的な相談体制整備や、交流拠点整備の推進など、総合的な移住・定住策を推進する。 【H30事業費】 24,725千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【担当課】 都市戦略室 【実施内容】 ・首都圏等における盛岡コミュニティ育成支援 ・移住・定住・交流支援にかかるコンテンツ制作 ・移住・定住関連イベントへの出席 ・ゲストハウス型交流拠点整備に向けた調査事業 【進捗状況】 ・財源である地方創生交付金の事前協議を行っている段階であり、交付金事業着手は8月下旬を予定している。	首都圏における盛岡コミュニティ育成・支援業務を委託する (単位 千円) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			首都圏において盛岡コミュニティ育成・支援が実施される (単位 件) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			首都圏において盛岡コミュニティが拡大する (単位 人) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			ワーキングホリディ・インターンシップ型移住体験業務を委託する (単位 千円) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			ワーキングホリディ・インターンシップ型移住体験が実施される (単位 回) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			ワーキングホリディ・インターンシップ型移住体験に参加者が来る (単位 人) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			移住・定住先としての盛岡の魅力が認識される (単位 相談件数) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未		
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
⑰地域おこし協力隊活用事業(移住・定住の促進) 【事業概要】 移住・定住や若者の地元定着を促進するため、移住・定住のコーディネーター役として「地域おこし協力隊」を配置し、「仕事」と「暮らし」の一体的な相談体制等を強化する。 【H30事業費】 8,000千円 【H31事業費】 【H32事業費】 【担当課】 都市戦略室 【実施内容】 地域おこし協力隊による移住・定住にかかるコーディネート支援 【進捗状況】 2名を募集しており、面接を経て1名が10月から着任する予定である。	移住・定住促進のため、地域おこし協力隊を任用する (単位 人) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			地域おこし協力隊が移住・定住の情報をHPで発信する (単位 回数) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			HPを閲覧した人が盛岡の情報を得る (単位 HPアクセス数) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			移住・定住先としての盛岡の魅力が認識される	移住・定住先として、盛岡市に興味を持つ人が増える (単位 相談件数) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未			移住者が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H30	H31	H32	未															
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	
H30	H31	H32																																															
未																																																	

(余白)

ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡を目指して
…進めています,自治体経営



行政評価結果

問合先 盛岡市市長公室 企画調整課

〒 020-8530 盛岡市内丸 12 番2号

電話 019-613-8394(直通)

電子メール kikaku@city.morioka.iwate.jp
